

XII. ブラジル連邦共和国
(Federative Republic of Brazil)

<目次 ~ブラジル~>

第1章 市場環境の特徴	2
第2章 金融制度概要	3
1. 金融機関の種類	3
(1) 金融機関の定義と種類	3
(2) 銀行	4
(3) 信用組合 (credit unions)	5
2. 監督官庁と指導体制	5
3. ブラジルの金融制度の特徴	7
(1) コレスポンデント・バンキング	7
(2) 政府系銀行の役割	8
4. 預金保険制度の枠組み	9
5. 個人資産運用に関わる税制全体の中での預貯金税制	10
第3章 郵便貯金の概要	11
1. 設立目的・沿革概要	11
2. 組織形態 (※バンコ・ポスターールのサービスは、2020年3月終了)	12
(1) 経営形態	12
(2) 金融サービス提供の形態	12
(3) 窓口取扱い時間	12
3. 主な業務内容 (※バンコ・ポスターールのサービスは、2020年3月終了)	12
(1) 預金業務概要 (提供商品)	12
(2) 資金運用方法	12
(3) 貸付業務概要	12
(4) 送金・決済業務概要	12
(5) その他	13
4. 会計基準と財務諸表	13
第4章 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴	15
1. ブラジル銀行 (Banco do Brasil)	15
(1) ブラジル銀行の特徴	15
(2) 金融市場の中でのブラジル銀行の競争力	15
2. 連邦貯蓄銀行 (CAIXA)	18
(1) 連邦貯蓄銀行の特徴	18
(2) 金融市場の中での連邦貯蓄銀行の競争力	18
3. 信用組合 (credit unions)	21
(1) 信用組合の特徴	21
4. 家計金融資産・負債の動向	24
(1) 家計金融資産	24
(2) 家計金融負債	24

5. 金融システム全体におけるリテール金融機関の位置づけ	25
(1) リテール金融機関の預金・貸出シェア	25
(2) 預金等の受入れ	25
(3) 資金の貸付等	26
(4) 個人向け貸出金利の動向	28
第5章 最近の金融動向と今後の展望	30
1. 最近の金融動向	30
(1) 金融包摂の促進に向けたアクションプランの策定と現状	30
(2) ブラジル中央銀行による金融包摂の取り組み	32
(3) マイクロファイナンスなどソーシャルファイナンスの現況等	32
(4) 大手行を中心としたマルチサービス	33
(5) フィンテックに関する法規制整備と関連企業の増加	34
(6) 2020年における中央銀行の優先課題（BC#AGENDA）	36
2. 最近のリテール決済の動向	37
(1) キャッシュレス決済の動向	37
(2) モバイルバンキングの拡大	38
(3) 大手行におけるモバイルバンキングの取り組み	40
3. 郵便局における金融サービスの今後の動向	40

<略語集>

略語	原語(英語、ポルトガル語)	日本語訳
BB	Banco do Brasil	ブラジル銀行
BCB	Banco Central do Brasil	ブラジル中央銀行
BNDES	National Bank of Economic and Social Development	経済社会開発銀行
CAIXA	Federal Saving Bank	連邦貯蓄銀行
CMN	Conselho Monetário Nacional, National Monetary Council	国家通貨審議会
CNPC	National Council for Complementary Pension	国家年金基金審議会
CNSP	National Council for Private Insurance	国家民間保険審議会
CPF	Cadastro de Pessoa Física	個人納税者番号
CVM	Securities and Exchange Commission of Brazil, Comissão de Valores Mobiliários	証券取引委員会
ECT	Brazilian Post and Telegraph Company, Empresa Brasileira de Correios e Telégrafos	ブラジル郵便電報公社
FEBRABAN	Brazilian Federation of Banks	ブラジル銀行協会
FGC	Fundo Garantidor de Creditos	信用保証基金
FGCoop	Fundo Garantidor do Cooperativismo de Credito	信用組合保証基金
FGTS	Fundo de Garantia do Tempo de Serviço	勤続年数保障基金
IBGE	Brazilian Institute of Geography and Statistics	ブラジル地理統計院
IFRS	International Financial Reporting Standards	国際会計基準
INSS	Instituto Nacional do Seguro Social	社会保険院
IOF	Imposto sobre Operações Financeiras	金融取引税
PREVIC	Superintendência Nacional de Previdência Complementar	国家年金基金監督機構
SCMEPP	Microentrepreneur and Small Business Credit Company	マイクロアントレプレナー・小企業 信用機関
SFH	Sistema Financeiro de Habitação	住宅金融システム
Sicoob	Sistema de Cooperativas de Crédito do Brasil	ブラジル信用組合システム
SUSEP	Superintendência de Seguros Privados	民間保険監督機構
UTU	Universal Postal Union	万国郵便連合

第1章 市場環境の特徴

図表 1: ブラジルの概要

分類	項目	
一般事情	面積	851.2 万平方キロメートル
	人口	2 億 1,142 万人(2020 年、IMF 推計)
	首都	ブラジリア
	民族	欧州系(約 48%)、アフリカ系(約 8%)、東洋系(約 1.1%)、混血(約 43%)、先住民(約 0.4%) (ブラジル地理統計院、2010 年)
	言語	ポルトガル語
	宗教	カトリック約 65%、プロテスタント約 22%、無宗教 8% (ブラジル地理統計院、2010 年)
	在留邦人数	50,491 人(2020 年 10 月)
政治体制・内政	政体	連邦共和制(大統領制)
	元首	ジャイル・メシアス・ボルソナーロ大統領 (2019 年 1 月 1 日より)
	議会	二院制(上院 81 名、下院 513 名)
	首相	—
経済	主要産業	製造業、鉱業(鉄鉱石他)、農牧業(砂糖、オレンジ、コーヒー、大豆他)
	GDP	1 兆 3,638 億ドル(2020 年、IMF 推計)
	1 人あたり GDP	6,450 ドル(2020 年、IMF 推計)
	実質 GDP 成長率	-5.8%(2020 年、IMF 推計)
	通貨	レアル。1ドル=5.4レアル、1レアル=19.2円 (2021/1/29)



(出所) IMF、外務省等を基に作成

図表 2: ブラジルの主要経済指標

	単位	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人口	万人	19,660	19,832	20,000	20,172	20,348	20,516	20,681	20,850	21,015	21,142
名目 GDP	億ドル	26,140	24,641	24,717	24,561	18,000	17,966	20,628	18,855	18,391	13,638
1 人あたり GDP(名目)	ドル	13,296	12,425	12,358	12,176	8,846	8,757	9,975	9,043	8,751	6,450
実質 GDP 成長率	%	4.0	1.9	3.0	0.5	-3.5	-3.3	1.3	1.3	1.1	-5.8
消費者物価上昇率	%	6.6	5.4	6.2	6.3	9.0	8.7	3.4	3.7	3.7	2.7
経常収支	GDP 比%	-2.9	-3.4	-3.2	-4.1	-3.0	-1.3	-0.7	-2.2	-2.8	0.3
財政収支	GDP 比%	-2.5	-2.5	-3.0	-6.0	-10.3	-9.0	-7.9	-7.2	-6.0	-16.8
政府債務	GDP 比%	61.2	62.2	60.2	62.3	72.6	78.3	83.7	87.1	89.5	101.4

(出所) IMF "World Economic Outlook October 2020"を基に作成

第2章 金融制度概要

1. 金融機関の種類

(1) 金融機関の定義と種類

ブラジルでは金融制度の根拠法である1964年12月31日付法律第4595号「国家金融システム法」(Law 4595, dated 12/31/1964 - National Financial System)の第17条において、金融機関(financial institutions)は「主要な業務または二次的な業務として、自己または第三者の本国通貨又は外貨建ての資金の調達・仲介・投資および第三者に帰属する資産の管理を行う公共又は民間の法人」と定義される。

リテール金融市場では、預金、保険、証券、投資銀行業務といったいわゆるユニバーサルサービスを提供する大規模な民間の総合銀行(multiple banks)が代表的な金融機関となっている。一方、地方の経済開発やインフラ整備、住宅ローン等の分野に関しては、公的な金融業務を行う政府系銀行(政府が総資本の51%以上を保有)が大きな役割を果たしている。

総合銀行の他にもブラジルには下記のような金融機関が存在する(図表3)。

図表3: ブラジルにおける金融機関数の推移

	金融機関数 (各年末)							
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
総合銀行 (Multiple Banks)	138	132	130	132	133	132	131	132
商業銀行 (Commercial Banks)	23	23	22	21	21	21	20	20
開発銀行 (Development Banks)	4	4	4	4	4	4	4	4
貯蓄銀行 (Savings Bank)	1	1	1	1	1	1	1	1
投資銀行 (Investment Banks)	14	14	14	13	14	13	12	11
外国為替専門銀行 (Exchange Banks)	2	3	3	3	3	3	4	5
外国為替仲介銀行 (Exchange Brokerage Banks)	57	62	66	63	63	61	63	55
消費者金融会社 (Consumer Finance Companies)	59	58	55	53	53	56	58	59
証券仲介会社 (Security Brokerage Companies)	95	93	92	87	79	75	68	67
証券販売会社 (Security Distribution Companies)	118	116	108	102	101	95	94	94
リース会社 (Leasing Companies)	30	29	27	27	25	24	21	21
不動産貸付会社・貯蓄貸付組合 (Real Estate Credit Company/Savings and Loan Association)	12	11	9	8	4	3	3	3
マイクロファイナンス機関(Micro-financing Institutions)	40	38	40	40	38	38	36	33
開発機関 (Development Agencies)	16	16	16	16	16	16	16	16
モーゲージ会社 (Mortgage Companies)	7	8	7	8	9	7	6	6
信用組合 (Credit Unions)	1,269	1,209	1,163	1,113	1,078	1,023	973	920
コンソーシアムマネージャー* (Consortium Manager)	222	199	186	172	166	156	152	148
支払サービス事業者 (Payment Institution)	—	—	—	—	1	6	10	19
プラットフォームレンディング・カンパニー(Platform Lending Company)	—	—	—	—	—	—	1	11
ピア・ツー・ピアレンディング・カンパニー(Peer-to-peer Lending Company)	—	—	—	—	—	—	—	4
合計	2,107	2,016	1,943	1,863	1,809	1,734	1,673	1,629

(注) *コンソーシアムマネージャーとは、共通の目的を持つ個人や企業が資金を拠出して車や不動産等を共同購入し、くじや抽選で当該の物品を給付するスキームにおけるコンソーシアム (Consortium、Consórcio) の運営主体を指す。設立には中央銀行の認可が必要である。

(出所) ブラジル中央銀行 “Evolution of National Financial System- Monthly data update”をもとに作成 (閲覧日: 2020年4月10日)

¹ Law 4595, dated 12/31/1964 - National Financial System, www.bcb.gov.br/ingles/norms/LAW4595EN.asp

(2) 銀行

1988年9月21日付中央銀行決議第1524号(Resolution 1524, 21/09/1988)により、金融機関に対し、商業銀行業務、投資銀行業務、不動産金融業務、消費者金融業務、リース業務のうち、2つ以上の兼業が認められた(ただし政府系銀行は、投資銀行部門を設置することは禁止されている)²。そのため1988年以降、民間商業銀行による総合銀行への統合が進み³、現在の銀行セクターの構造は総合銀行132に対し商業銀行20となっている(2019年12月末)。

総資産規模が大きい上位10行の内訳は、民間の総合銀行が5行、政府系銀行が3行、外国銀行が2行となっている(2019年12月末⁴)。上位10行で全132行の総資産の80.5%、貸出残高の83.8%、預金残高の81.7%を占め、上位行への集中が顕著であることがブラジルの銀行セクターの大きな特徴となっている(図表4)。

外国銀行には、スペインのバンコ・サンタンデル(Banco Santander)などがある。2019年12月末で、ブラジル国内に展開する外国銀行は68行であり⁵、総合銀行としての外国銀行の総資産、預金残高のシェアはそれぞれ国内全体の16.2%、13.5%である。大手以外の外国銀行は貿易金融や為替業務、多国籍企業の現地子会社への貸出等の法人向け業務を主としている。預金業務に関しても、個人顧客よりも法人顧客や海外からの預け入れが多い。2015年以降、ブラジル経済の低迷を受け、英HSBCや米シティバンク等、ブラジル事業からの撤退・縮小が相次いでいる。

図表4: ブラジルにおける10大銀行(外国・国内含む) (2019年12月末、億米ドル)

順位	属性	総資産		貸出残高		預金残高		
		総資産	シェア	貸出残高	シェア	預金残高	シェア	
1	Banco Itau	国内民間	3,888	16.6%	1,218	14.6%	1,379	19.2%
2	Banco do Brasil	政府系	3,655	15.6%	1,406	16.9%	1,276	17.7%
3	Caixa Economica Federal	政府系	3,209	13.7%	1,696	20.4%	1,330	18.5%
4	Banco Bradesco	国内民間	2,842	12.1%	934	11.2%	925	12.9%
5	Banco Santander Brasil	外国	2,110	9.0%	697	8.4%	679	9.4%
6	Banco Nacional de Desenvolvimento Economico e Social (BNDES)	政府系	1,835	7.8%	648	7.8%	19	0.3%
7	BTG Pactual	国内民間	459	2.0%	71	0.9%	69	1.0%
8	Banco Safra	国内民間	429	1.8%	165	2.0%	114	1.6%
9	Banco Votorantim	国内民間	240	1.0%	123	1.5%	42	0.6%
10	CITIBANK	外国	229	1.0%	18	0.2%	51	0.7%
上位10行合計			18,895	80.5%	6,974	83.8%	5,883	81.7%
全132行合計			23,466	100.0%	8,326	100.0%	7,198	100.0%
うち政府系銀行 (Government Owned)			9,317	39.7%	3,982	47.8%	2,885	40.1%
うち国内民間銀行 (Domestic Private)			10,345	44.1%	3,212	38.6%	3,342	46.4%
うち外国銀行 (Foreign Controlled Private)			3,804	16.2%	1,132	13.6%	971	13.5%

(出所) ブラジル中央銀行 “financial and regulatory information database”より作成
<https://www3.bcb.gov.br/ifaifa/?lang=1> (閲覧日: 2020年5月1日)

² De Matos, Orlando Carneiro. “Volatility Of Rates Of Return And Capital Adequacy In The Brazilian Banking Sector An Analysis Of The 1993/97 Period” (“MONEY AFFAIRS” 2000)

³ ブラジル中央銀行 “Financial Stability Report September 2010, Volume 9, Number2”

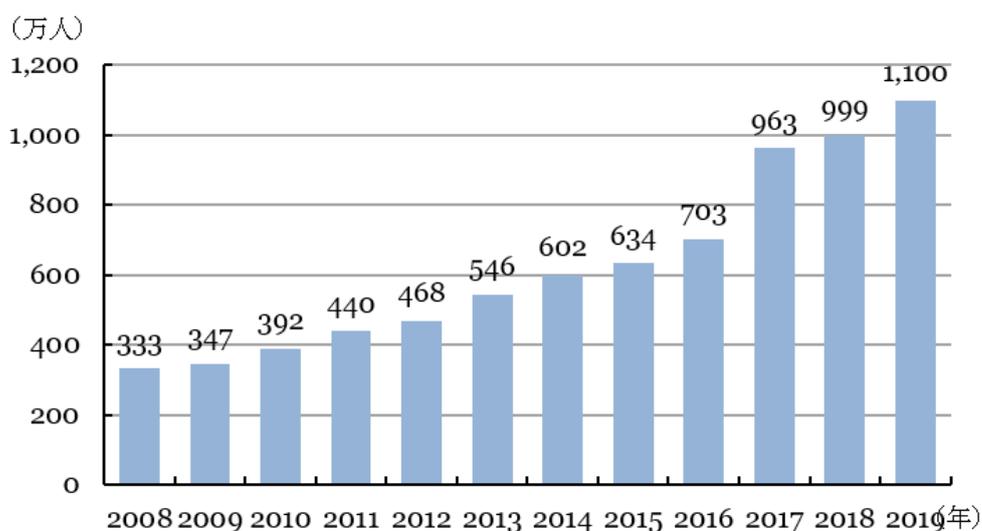
⁴ ブラジル中央銀行(Banco Central do Brasil, BCB) “financial and regulatory information database”
<https://www3.bcb.gov.br/ifaifa/?lang=1> (閲覧日: 2020年5月11日)

⁵ 内訳は総合銀行56行、商業銀行4行、投資銀行5行、外為専門銀行3行

(3) 信用組合 (credit unions)

ブラジルには 872 の信用組合が存在する (2019 年 12 月末)⁶。信用組合は地域密着型金融を実施し、特に地方居住者や低所得層へのサービス提供を中心としている。信用組合が提供する主要な商品は、預金口座や小口貸出であるが、銀行と比較すると顧客により有利な金利水準でサービスを提供している⁷。世界信用組合評議会 (World Council of Credit Unions) の統計によると、ブラジルの信用組合の浸透率 (penetration rate:15-64 歳人口に対する組合員の割合) は 7.47% (2019 年 12 月末) である。信用組合員数は年々増加しており、2019 年 12 末の会員数は 1,100 万人である (図表 5)。

図表 5: 信用組合員数の推移 (各年 12 月末)



(出所) World Council of Credit Unions ウェブサイト⁸をもとに作成 (閲覧日: 2021 年 1 月 15 日)

2. 監督官庁と指導体制

ブラジルでの金融及び銀行規制は、「国家金融システム法」(National Financial System Law) により設立された国家通貨審議会 (Conselho Monetário Nacional, National Monetary Council, CMN) と同法により設立されたブラジル中央銀行 (Banco Central do Brasil, BCB) が中心となって実施している。

国家通貨審議会は、国家金融システムの最高の機関と位置付けられ、通貨・信用政策の策定、通貨の安定、社会経済の発展のために、資本市場及び金融機関の規制等に関してブラジル中央銀行及び証券取引委員会が従うべき規則及びガイドラインを策定することを主たる使命とする。同審議会は、2019 年 1 月に発足した現ボルソナロ政権下では経済大臣 (Minister of Economy)、経済省特別財務局長 (Special Secretary of Finance) 及び中央銀行総裁 (Governor of the Central Bank of Brazil) から構成され、原則として月 1 回会合を開催する。そこで承認された決定事項等は、決議 (resolution) の形で官報、ブラジル中央銀行のウェブサイトに掲載される⁹。

その他、国家通貨審議会の決議等が、直接国民に影響を与えるものの中には、特定

⁶ World Council of Credit Unions: 2019 Statistical Report

⁷ ブラジル中央銀行、「Management Report」(2015 年)

⁸ www.woccu.org/publications/statreport

⁹ 長年、財務・企画両大臣および中銀総裁で構成されていたが、ボルソナロ政権は従来の財務・企画・貿易産業の 3 省を経済省に統合したため企画大臣が CMN 構成員から外れた。

分野への融資に係る銀行金利や手数料等の上限水準設定、紙幣・通貨の模様の選択、コレスポンデント・バンキング業務（後述）契約先としての宝くじ販売所等の認可等がある。また、インフレ目標の決定もその権能に含まれている。

ブラジル中央銀行は、国家通貨審議会により決定された決定事項等を実施する責任を有し、通貨の発行、金融機関の設立許可及び監督等を実施する。

その他の金融部門の監督機関として、1976年法律第6385号「証券法」(Securities Law)により設立され、経済省の一機関として証券市場全般を監視する証券取引委員会(CVM)のほか、民間保険監督機構(Superintendência de Seguros Privados、SUSEP)、国家年金基金監督機構(Superintendência Nacional de Previdência Complementar、PREVIC)が挙げられる。各監督機関の監督対象等は図表6の通り。

図表6: ブラジルの金融監督体制の概念図

規制主体	監督機関	監督対象となる事業者	
国家通貨審議会 (CMN)	ブラジル中央銀行 (BCB)	要求払預金受入金融機関 Financial institutions taking demand deposits	第三者の金融 資産を管理する その他の金融 仲介機関・事業 者等 Other financial intermediaries and entities administering financial as- sets of third parties
		その他の金融機関 Other financial institu- tions	
		外貨為替銀行 Foreign exchange banks	
	証券取引所 Stock exchanges		
	証券取引委員会 (CVM)	コモディティ・先物取引所 Commodities and futures exchanges	
国家民間保険審議会 (CNSP)	民間保険監督機構 (SUSEP)	再保険会社 Reinsurance Companies	
		保険会社 Insurance companies	
		キャピタリゼーション・カンパニー Capitalization companies	
		民間年金基金(オープンエンド型)運用会社 Entities operating private open pension funds	
国家年金基金審議会 (CNPC)	国家年金基金監督 機構(PREVIC)	民間年金基金(クローズドエンド型)運用会社 Entities operating private closed pension funds	

(出所) ブラジル中央銀行ウェブサイト “The role of financial intermediaries”をもとに作成
<https://www.bcb.gov.br/Pom/Spb/Ing/InstitucionalAspects/TheRoleFinancialIntermediaries.asp>
 (閲覧日: 2020年4月15日)

3. ブラジルの金融制度の特徴

(1) コレスポンデント・バンキング

ブラジルの金融制度の大きな特徴として挙げられるのがコレスポンデント・バンキング (correspondent banking) である。コレスポンデント・バンキングとは、地方居住者への金融サービス提供を拡大する策として、銀行の支店ネットワーク以外の拠点 (コレスポンデント:郵便局、宝くじ販売所、スーパーマーケット、薬局、小売業者等) を通じて金融サービスを提供する制度で、南米やインドなどで導入されている。国土の広いブラジルは金融包摂 (financial inclusion) を進める有効な手段として、1970年代からコレスポンデント・バンキングの拡充に取り組んできた。現在はスーパーマーケットやガソリンスタンド、個人商店のほか、ボートを用いた移動拠点も整備され、ブラジル全土に 30 万箇所以上のコレスポンデントが存在する。

コレスポンデント・バンキングのネットワークが急速に全土に拡大した背景には、各金融機関にとっても、独自では進出が困難である地方部の潜在顧客に対して、コストをかけずにアクセスできるメリットが魅力となったからである。

2000 年以降、大手銀行はコレスポンデント・バンキングを積極的に展開してきた。連邦貯蓄銀行 (Federal Saving Bank、CAIXA) は 2000 年に宝くじ販売所 (Casas Lotericas) と提携し、大手銀行として初めてコレスポンデント・バンキング制度を導入した。近年においても、2010 年からブラジル北部の河岸部に船で支店を出し (riverboat branches:2016 年 12 月末で 2)、地上からのアクセスが不便な場所の住民にサービスを提供する¹⁰等、幅広く国民をサポートするサービスの提供を目指し、現在では 5,587 すべての市町村にサービス拠点を展開するようになっている。同行の拠点網は 4,129 の支店及びサービス拠点に加えて 21,158 のコレスポンデントや宝くじ売り場等を有するとともに、全国に 28,600 台余の ATM を設置しており、合計 53,924 カ所の拠点を通じて 1 億 326 万の顧客 (うち個人 1 億 29 万) にサービスを提供している (2019 年 12 月末)¹¹。

民間大手のブラデスコ銀行 (Banco Bradesco) は 2002 年から 10 年間に渡ってバンコ・ポスタールと提携し、郵便局ネットワークを通じた金融サービスを提供していた。2012 年からは当時最大手のブラジル銀行 (Banco do Brasil) がバンコ・ポスタールとの契約をブラデスコ銀行から引き継ぎ、全国の郵便局を自行のネットワークに加えた。しかし、ブラジル銀行のバンコ・ポスタールサービスは 2019 年 12 月で終了している (第 3 章 1 参照)。ブラジル銀行は、各地のスーパー等と直接コレスポンデント・バンキング契約を結ぶ形態を採用している¹²。

コレスポンデント先での業務の取扱範囲は、2011 年 2 月の中央銀行決議第 3954 号 (Resolution 3954) により、預金口座の開設、預金口座の預払い、為替の支払、ローン、リーシングの申請、クレジットカードの申請等と定められている (同決議 CHAPTER II)。コレスポンデント・バンキングによる銀行サービスは、従来は送金・決済業務に限られていたが、提供される商品の幅が広がり、特に小口預金口座が人気を博している。

2017 年 12 月末時点では、国内に 341,300 箇所のコレスポンデントが存在している。

¹⁰ 連邦貯蓄銀行 (Caixa) ウェブサイト

¹¹ 連邦貯蓄銀行, “Performance Analysis Report 2019”

¹² Anjali Kumar ほか “Expanding Bank Outreach through Retail Partnerships: Correspondent Banking in Brazil” (World Bank Working Paper, 2006)

景気低迷の影響もあり、2013年の375,315をピークに2016年まで3年連続で減少してきたが、2017年は4年ぶりに増加に転じた（図表7）。コレスポンデント経由の取引回数は2013年の13億回から2018年には42億回に拡大しているが、取引回数全体に占めるシェアは、モバイルバンキングの急激な台頭により2016年ピークの7%から2018年には5%に低下している¹³。

図表7: ブラジルにおける銀行の支店、サービス拠点数（各年12月末）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	増減率 (18→19)
支店 Branches	22,918	23,126	22,826	22,547	21,062	20,850	19,964	-4.2%
サービス拠点 Point of Service: PS	10,461	10,479	10,648	10,642	11,153	10,914	11,617	6.4%
電子サービス拠点 Electronic Service Point: ESP	38,859	40,521	34,876	33,135	31,226	30,377	30,289	-0.3%
コレスポンデント Domestic correspondents	375,315	346,502	321,900	304,300	341,300	—	—	(12.2%)

(注) 電子サービス拠点とはATMが集まっている場所（箇所）のことを指す。
コレスポンデントの増減率は2016年から2017年の前年比。

(出所) ブラジル中央銀行 “National financial system evolution information - Monthly publication”

<https://www.bcb.gov.br/en/statistics/evolutionmonthnfs>（閲覧日：2020年5月12日）

FEBRABAN “2019 Banking Technology Survey”

<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/br/Documents/financial-services/2019-FEBRABAN-Banking-Technology-Survey.pdf>（最終閲覧日：2020年5月12日）

(2) 政府系銀行の役割

1980年代までブラジルの政府系銀行が市場の半分以上を占めていたが、1995年に発足したカルドーズ政権により、国営企業の民営化及び内外資の差別を撤廃する憲法改正が行なわれたことを契機として、政府系銀行の民営化や再編が進んだ。

民間総合銀行のシェア拡大により、政府系銀行も数が減っているが、社会開発分野等での公的金融業務を行う政府系銀行の存在感は大きい。総資産上位10行のうち、政府系銀行（州営含む）は3行あり、全132行の総資産、預金残高に占める政府系銀行のシェアはそれぞれ39.7%、40.1%である（2019年末）（図表4）。

政府系銀行が占める貸出シェア（47.8%）は総資産（39.7%）に比べて高いが、民間銀行がリスクの高い中小企業等に対する融資を回避する傾向にあることで、政府系銀行がそのような融資の出し手となっているためと推測される¹⁴。

ブラジルでは、2008年の世界的な金融危機後の景気対策の一環として、低利での設備投資資金貸出プログラムや低所得層の住宅取得促進など、政策金融の拡充措置がとられた。景気後退局面で、民間銀行の貸出の伸びが大きく鈍化する一方、政府系銀行の貸出は急拡大した。2007年末に34%だった政府系銀行の貸出シェアは急上昇し、2013年に民間銀行を逆転、2015年末には56%に達した。政策金融の肥大化を見直す議論の高まりとともに、政府系銀行の貸出は減少に転じ、シェア拡大に歯止めがかか

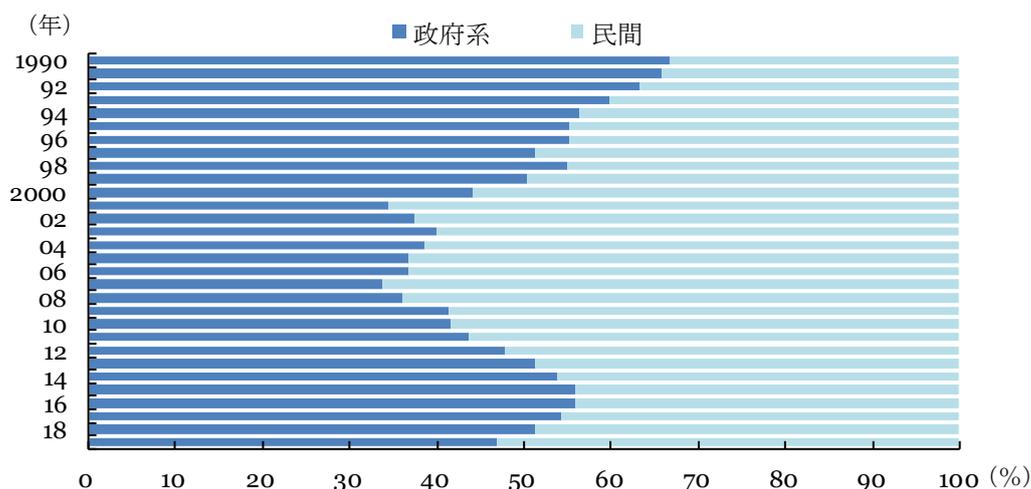
¹³ Brazilian Federation of Banks “2019 Banking Technology Survey”
<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/br/Documents/financial-services/2019-FEBRABAN-Banking-Technology-Survey.pdf>

¹⁴ EMIS (A Euromoney Investor Company) “Banking Sector Brazil” (2014年3月)
<https://www.emis.com/sites/default/files/EMIS%20Insight%20-%20Brazil%20Banking%20Sector%20Report.pdf>

っている（2019年、47%）（図表8）。

政府系銀行の役割拡大を促進した左派から右派への政権交代に伴い、政府系銀行の存在感は、今後一段と低下していく可能性がある。2019年1月に発足した右派ボルソナロ政権は、国内政策の柱の一つとして国営企業・国有企業の民営化を推進している。政府系銀行については、民営化の対象とはなっていないが、ブラジル銀行（BB）、連邦貯蓄銀行（CAIXA）等については資産売却を進める方針を示している¹⁵。

図表8：政府系銀行と民間銀行の貸出シェアの推移



(出所) ブラジル中央銀行 “Monetary and credit statistics”
<http://www.bcb.gov.br/ingles/notecon2-i.asp> (閲覧日：2020年3月12日)

4. 預金保険制度の枠組み

ブラジルでは信用保証基金（Fundo Garantidor de Creditos、FGC）が預金保険を提供している。信用保証基金は、1995年8月の国家通貨審議会（CMN）の決議（Resolution 2197号）により1995年11月に設立された、民間非営利の機関（private nonprofit institution）である¹⁶。ブラジルで営業している銀行とその他預金取扱金融機関は信用保証基金の預金保険に加盟する義務があり、毎月納める保険料は当該金融機関に預入されている預金残高の0.0125%に設定されている¹⁷。預金保険の保証限度額は、設立当時一人当たり、一金融機関ごとに20,000リアルに設定されていたが、2013年10月28日に250,000リアルに引き上げられた¹⁸。2019年度末における信用保証基金の積立額は2.36兆リアルに達し、前年から7.2%増加した。また、2019年の支払総額は13万リアルであった²⁰。

また、2012年10月の国家通貨審議会の決議（Resolution 4150号）により、信用組合銀行2行（Banco Cooperativo do Brasil : Bancoob と Banco Sicredi）および信用組

¹⁵ Reuters, “Brazil govt aims to sell at least \$20 bln in assets this year” 2019年1月29日

¹⁶ 信用保証基金ウェブサイト、http://fgc.org.br/index.php?conteudo=1&ci_menu=273

¹⁷ 信用保証基金ウェブサイト、http://fgc.org.br/index.php?conteudo=1&ci_menu=48

¹⁸ 信用保証基金ウェブサイト “REGULAMENTO DO FUNDO GARANTIDOR DE CREDITOS-FGC”

¹⁹ 2013年5月23日付の決議4222の別添II条項10において、一個人に対する250,000リアルの限度を超える保証金の支払いが発生する場合には、預金者に抗弁権を付与した上で、その預金者による正当性の証明が為されるまで保証金の支払いを停止することができる。その証明及び証拠の正当性の判断は、信用保証基金に属するとされている。

²⁰ 信用保証基金 “Annual Report 2019” (閲覧日：2021年1月10日)
<https://www.fgc.org.br/nossos-numeros/demonstracoes-financeiras?lang=en-us>

合を対象とした信用保証機関、Fundo Garantidor do Cooperativismo de Credito (FGCoop) が設立された。信用組合銀行 (cooperative banks) は、商業銀行またはマルチサービス銀行であり、信用組合が株式の 51% を保有し、サービスを提供する対象が組合となっている点で銀行と異なっている²¹。

FGCoop の保証限度額、及び保険料は、銀行等と同様である²²。信用組合銀行は信用保証基金 (FGC) には加盟していない。

FGCoop は、主に商業銀行を対象とし、預金を保証し資金援助を行うことで国家金融システムの安定性に寄与しようとしている FGC と同じ目標を達成するために設立された²³。

5. 個人資産運用に関わる税制全体の中での預貯金税制

ブラジルにおいて総合課税の対象となる個人所得税の税率は、所得に応じて課税される累進課税で設定されている。2019 年の所得税率は納税者の月間所得に応じ 4 階層設定されており、7.5% (月間総所得 1,903.99 レアル以上 2,826.65 レアル未満) から 27.5% (同 4,664.68 レアル以上) の範囲で課税される。月間の所得が 1,903.98 レアル未満の居住者は非課税となる (図表 9)。

図表 9: ブラジルの個人所得税率 (2019 年)

月間課税所得(レアル)	税率	控除可能額(レアル)
0~1,903.98	0 (非課税)	0
1,903.99~2,826.65	7.5	142.8
2,826.66~3,751.05	15	354.8
3,751.06~4,664.68	22.5	636.13
4,664.68~	27.5	869.36

(出所) ブラジル連邦歳入庁 (Receita Federal, Ministério da Economia)

<http://receita.economia.gov.br/aceso-rapido/tributos/irpf-imposto-de-renda-pessoa-fisica>

(閲覧日: 2020 年 5 月 10 日)

1996 年以降、利益配当に対する源泉所得税は非課税となっている。利子所得は総合課税の対象となり、源泉徴収されるが、貯蓄口座は課税対象外となっている²⁴。キャピタルゲイン所得は基本的には一律 15% の分離課税対象であるが、2017 年 1 月 1 日以降、キャピタルゲインのうち 500 万レアルを超える部分には 17.5% から最大 22.5% の課税がなされる (なお、22.5% となるのは 3,000 万レアルを超えた部分に適用される)²⁵。また、法人・個人による融資、保険、為替、証券等取引に対しては、金融取引税 (IOF) が課税される。例えば、ブラジル国内居住者による海外保有銀行口座への送金にかかる為替取引の税率は 1.1% となっている (2020 年 7 月時点)²⁶。

²¹ FGCoop <http://www.fgcoop.coop.br/en/banco-cooperativo> (最終閲覧日: 2020 年 5 月 2 日)

²² FGCoop “Constitution, operation and prospects” (2015 年 3 月)

²³ FGCoop <http://www.fgcoop.coop.br/en/criacao> (最終閲覧日: 2018 年 2 月 8 日)

²⁴ KPMG <https://home.kpmg.com/xx/en/home/insights/2011/12/brazil-income-tax.html> (閲覧日: 2020 年 5 月 3 日)

²⁵ PwC <https://taxsummaries.pwc.com/brazil/individual/other-taxes> (閲覧日: 2020 年 5 月 3 日)

²⁶ JETRO https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/br/invest_o4.html (閲覧日: 2021 年 1 月 20 日)

第3章 郵便貯金の概要

1. 設立目的・沿革概要

ブラジルでは、1969年に設立されたブラジル郵便電報公社（Empresa Brasileira de Correios e Telégrafos, Brazilian Post and Telegraph Company, ECT）が全国約12,000局で郵便業務を展開している。郵便局においては、バンク・ポスタール（Banco Postal）の名称のもと、ブラジル銀行から受託した金融サービスを2020年3月まで提供していた。ブラジル銀行は、連邦政府が株式の50.0%を所有し²⁷、マーケットシェアが総資産で15.6%、預金残高で17.7%を占め、総資産でブラジル第2位の銀行である（2019年12月末）²⁸。

ブラジル郵便電報公社（ECT）は2002年から10年間、当時ブラジル最大手の銀行であったブラデスコ銀行の銀行業務を受託し、郵便局窓口を通じた金融サービス「バンク・ポスタール」を展開してきた。その後、2011年のブラデスコ銀行との契約期間終了に伴い、ECTが提携先の選別のために行った入札で、ブラジル銀行が落札し、新たなパートナーとなった（契約期間:5年6ヵ月で、オプションで5年間の延長が可能という契約）。2012年1月よりブラジル銀行のサービスが、ECTの郵便局を通じて提供されるようになった。

2002年から2011年までの期間、バンク・ポスタールは約1,100万人分の当座預金口座を開設しているが、顧客の多数が貧困層であるため、個人金融資産に占めるバンク・ポスタール預金の割合は低い水準に留まっていた。2012年からのブラジル銀行との契約により、全国の郵便局だけでなく、5,000以上のブラジル銀行の支店や当時43,000台設置されていたATMにおいてもバンク・ポスタールの金融サービスが受けられることとなり²⁹、両社のネットワークを活用しながら、新規の顧客開拓が進められてきた。

2016年10月6日にブラジル銀行は、ECTとの契約を延長しないことを発表し、ECTは新たなパートナーを公募したが、期限までに応募がなかったため、2017年以降もブラジル銀行がバンク・ポスタールのサービス提供を3年間延長することとなった。同行は契約満了となる2019年12月15日以降の更新は行わないことを改めて表明、バンク・ポスタール契約は19年12月で終了となった（残った業務完了のため2020年3月まで契約が延長されたが、その後、再延長は行われていない）³⁰。同サービスを引き継ぐ銀行も現れなかったことから、バンク・ポスタールのサービスは2020年3月で終了した。なお、「バンク・ポスタール」という名称のサービスは終了しているが、ブラジル銀行の口座の預け入れ、引き出し、残高照会などの金融サービスは、引き続き郵便局で取り扱っている。

郵便局を活用したブラジルの金融包摂への取り組みは、中南米地域では先進的である。Universal Postal Union（UPU）によれば、中南米地域の郵便局は伝統的に金融サービスをあまり重視していない。UPUが算出している金融包摂能力指数でみて、中南米は調査対象地域で最低水準にあるなか、ブラジルが域内最上位に位置している。郵便局が銀行とのパートナーシップを提携し金融サービスを提供するブラジルの成功事

²⁷ ブラジル銀行 <https://ri.bb.com.br/en/banco-do-brasil/ownership-structure/>（2020年4月28日閲覧）
連邦政府の所有シェアは正確には50.0000011%。

²⁸ 132行に占めるシェア。図表4参照。

²⁹ ブラジル郵便電報公社ウェブサイト

³⁰ “Correios encerram contrato com Banco do Brasil e não oferecem mais serviços da instituição” March 6, 2020

例は、域内の多くの国で共有されるべきであり、実際に同種のパートナーシップの模索を始めた国もあると UPU は指摘している³¹。

2. 組織形態（※バンコ・ポスタールのサービスは、2020年3月終了）

(1) 経営形態

ECT がブラジル銀行とのコレスポンデント・バンキング契約に基づき、同行の金融商品や金融サービスを郵便局において提供している。

(2) 金融サービス提供の形態

ECT は直接経営している郵便局（Own agencies）6,315 カ所を有している。その他、切手機関（Philatelic agencies）が 18、ビジネス機関（Commercial agencies）が 127、フランチャイズ機関（Agencies franchised）が 1,002、地域機関（Community Agencies）が 4,304 存在し、メールサービスを担っている（2018年6月末）。

バンコ・ポスタールの金融サービス業務は、郵便局において提供されていた。2017年、安全上の問題から ECT はブラジル銀行のコレスポンデント数の削減に着手しており、2018年7月時点で 6,348 のバンコ・ポスタールのうち、403 が閉鎖された。

(3) 窓口取扱い時間

9:00-17:00 で取り扱っている郵便局が多いが、ショッピングセンター内の郵便局等では 10:00-20:00 など、取扱い時間が異なる局も存在する。

3. 主な業務内容（※バンコ・ポスタールのサービスは、2020年3月終了）

(1) 預金業務概要（提供商品）

バンコ・ポスタールの金融サービスは、郵便局の窓口、ブラジル銀行の窓口、ATM、インターネットを通じて提供されている。特に、低所得層向けの預金商品（上限額が低く設定されている当座預金など）等が重点的に展開されている。なお、バンコ・ポスタール独自の金融商品は提供されていない。

(2) 資金運用方法

ブラジル銀行が運用。

(3) 貸付業務概要

バンコ・ポスタールはブラジル銀行の貸付商品を郵便局窓口で提供している。

(4) 送金・決済業務概要

ECT の独自の業務として、国内・国際郵便為替サービス（Correios' Electronic Money Order）を提供している。

³¹ Universal Postal Union “Global Panorama on Postal Financial Inclusion 2016”

(5) その他

クレジットカード、社会保障負担金（INSS）の納付、債券・税金・手数料・社会保障拠出金（GPS）の収納等のサービスを提供している。

4. 会計基準と財務諸表

ブラジルでは 2007 年 12 月の法律第 11,638 号にて国際会計基準（International Financial Reporting Standards, IFRS）への取れんへのスケジュールが公表され、上場企業と一部大手金融機関に関しては、2010 年度末までに IFRS に基づく連結財務諸表の公表が義務付けられた。その他の企業については、2008 年に公表されたブラジル新会計基準（内容は IFRS にほぼ取れんされている）に基づく財務諸表を作成しなければならない。ブラジル郵便電報公社（ECT）も IFRS の適用を図っているが、いくつかの項目に関しては未対応の状況である（2016 年 12 月末）。

図表 10 にあるように ECT の財務諸表を見ると 2015 年、2016 年と 2 年連続で税引後利益が赤字となった後、2017 年は黒字に転じている。過年度の赤字の理由として、郵便物輸送量の減少、職員への給与支払いの増加等が挙げられていた³²。2019 年の総収入 191 億レアルのうち、プリペイド郵便物、SEDEX（エクスプレス配送サービス）、郵便契約、PAC 契約（エコノミー配送サービス）等の伝統的な郵便業務で全体の 78.0% を占めている（図表 11）³³。

図表 10: ブラジル郵便電報公社の財務諸表（単体、億レアル）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
資産	120.2	168.3	155.1	145.3	134.6	135.2	142.4
負債	88.4	136.5	123.3	113.5	102.8	103.0	108.5
資本	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	32.2	33.8
純収入	147.9	160.6	171.3	176.8	173.4	181.8	183.6
粗利益	31.1	28.2	25.3	22.5	12.9	25.0	27.2
営業利益	-8.5	-3.0	-23.5	-8.6	7.5	0.3	1.9
税引前利益	-5.8	1.3	-20.8	-6.6	6.8	3.1	1.1
税引後利益	-3.1	2.0	-21.2	-14.9	6.7	1.6	1.0

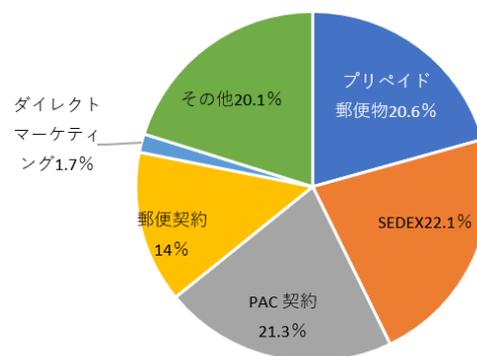
（出所）ブラジル郵便電報公社（ECT） “Demonstrações financeiras 2019”（閲覧日：2021 年 1 月 15 日）
<http://www.correios.com.br/sobre-os-correios/a-empresa/publicacoes/demonstracoes-financeiras>

³² Brasil Economico “Correios perdem 92% do patrimônio em cinco anos e têm sustentabilidade ameaçada”
<http://economia.ig.com.br/2017-12-15/correios-patrimonio.html>（最終閲覧日：2020 年 5 月 7 日）

³³ バンコ・ポスターール取扱いによる手数料収入については、2017 年は 2.3 億レアル（構成比 1.3%）が計上されていたが、2018 年については個別記載対象外となっている。

図表 11: ブラジル郵便電報公社の部門別売上高 (単体、億リアル)

	2018		2019		
		構成比		構成比	伸び率
プリペイド郵便物	44.8	23.7%	39.4	20.6%	-12.1%
SEDEX	42.7	22.6%	42.3	22.1%	-0.9%
PAC 契約	34.6	18.3%	40.8	21.3%	17.7%
郵便契約	26.4	13.9%	26.8	14.0%	1.5%
ダイレクトマーケティング	4.0	2.1%	3.3	1.7%	-17.5%
その他	36.6	19.4%	38.4	20.1%	4.9%
総収入	189.1	100.0%	191.0	100.0%	1.0%



(注) SEDEX はエクスプレス配送サービス、PAC はエコノミー配送サービス。

(出所) ブラジル郵便電報公社 (ECT) “Demonstrações financeiras 2019”

(閲覧日: 2021 年 1 月 15 日)

第4章 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴

ブラジルにおけるリテール金融機関としては、ブラジル郵便電報公社（ECT）がブラジル銀行から受託して提供している金融サービス「バンコ・ポスタール」、連邦貯蓄銀行及び信用組合（credit unions）が挙げられる。

1. ブラジル銀行（Banco do Brasil）

(1) ブラジル銀行の特徴

ブラジル銀行（Banco do Brasil, BB）は、総資産で国内第2位の規模を誇る金融機関である。1808年にブラジル初の銀行として創設されて以降、1964年にブラジル中央銀行（Banco Central do Brasil, BCB）が設立されるまでの期間、同国の政策金融機関としての役割を担ってきた。現在は政府が50.0%³⁴の株式を保有しており、政府系銀行として位置づけられている。

ブラジル銀行は2012年1月よりブラジル郵便電報公社と提携し、郵便局を通じた銀行サービスの提供を開始している。国内では、①ブラジル銀行の支店4,356店を含む自行のサービスネットワーク14,793拠点、②バンコ・ポスタールの郵便局6,315カ所（2018年6月末時点）等を全国に展開し、国内の自治体の99.24%をカバーしている。顧客数は6,600万人に及ぶ³⁵。ブラジルの銀行の中では、総資産でシェア15.6%（国内第2位）、預金残高17.7%（同第3位）、貸出残高16.9%（同第2位）を占める³⁶。

海外拠点は2019年末で16カ国に24拠点ある。日本には1972年に支店を開設しており、現在4カ所の拠点（東京支店・五反田出張所・浜松出張所・名古屋出張所）で営業している³⁷。

第2章3.(2)の通り、ボルソナーロ政権が進める民営化政策の一環で、ブラジル銀行は資産売却をすすめている。投資銀行、資産管理、債権回収等の部門売却により、収益性が改善することが期待されている³⁸。

(2) 金融市場の中でのブラジル銀行の競争力

2019年12月末のブラジル銀行の総資産は1兆4,692億リアルで、貸出残高は5,289億リアル、預金残高は5,141億リアルである。貸出残高は、ブラジル経済の景気低迷に伴い、前年比-3.7%と減少している（図表12）。

³⁴ 脚注27参照。

³⁵ ブラジル銀行”Annual Report 2019”

³⁶ 132行に占めるシェア。図表4参照。

³⁷ ブラジル銀行”Annual Report 2019”

<https://www.bb.com.br/portallbb/page22,3669,3669,22,0,7,8.bb?codigoNoticia=32183>（閲覧日2020年5月2日）

³⁸ Reuters, “Banco do Brasil to sell off units; full sale would be better- CEO,”2019年2月14日

図表 12: ブラジル銀行（連結）の財務諸表（百万リアル）

	2015	2016	2017	2018	2019	前年比 2018→2019
総資産	1,401,129	1,401,377	1,369,201	1,416,901	1,469,223	3.7%
現預金	18,054	12,806	13,481	13,615	14,188	4.2%
インターバンク金融商品	352,742	405,712	373,023	415,092	425,477	2.5%
有価証券・デリバティブ	117,285	121,269	138,923	151,096	202,942	34.3%
貸出	627,878	564,923	544,290	548,988	528,882	-3.7%
リース	826	563	378	223	188	-16.1%
その他	284,344	296,105	299,107	287,887	297,547	3.4%
負債	1,319,593	1,314,183	1,270,478	1,314,649	1,360,658	3.5%
預金	464,420	445,981	450,229	486,037	514,131	5.8%
レポ取引による有価証券	333,522	374,634	376,243	402,901	404,355	0.4%
社債	188,561	165,166	133,766	124,818	129,651	3.9%
その他	333,090	328,402	310,240	300,892	312,521	3.9%
株主資本	81,536	87,194	98,723	102,253	108,565	6.2%
金融仲介関連収入	181,043	167,041	142,205	134,325	128,634	-4.2%
貸出業務	108,435	101,471	83,669	86,779	82,381	-5.1%
リース業務	167	145	108	67	42	-37.4%
証券	61,161	57,918	52,144	41,601	41,649	0.1%
その他	11,280	7,507	6,283	5,878	4,561	-22.4%
金融仲介関連費用	-158,998	-135,114	-110,587	-102,525	-96,096	—
粗利益	22,045	31,927	31,618	31,800	32,537	2.3%
その他営業収入(費用)	-15,697	-17,782	-14,027	-12,292	-20,058	—
営業利益	6,348	14,145	17,591	19,508	12,479	-36.0%
税引前利益	12,285	14,372	18,134	20,664	16,121	-22.0%
当期純利益	14,400	8,034	11,011	12,862	18,162	41.2%

(出所) ブラジル銀行”Financial Statements 2019 Results” 等

<http://www.bb.com.br/pbb/pagina-inicial/investor-relations#/> (閲覧日: 2020年4月25日)

2019年12月末の貸出残高の内訳は、個人向けが2,141億リアル（全体の31.4%）と最も大きく、次いで法人向けが1,975億リアル（同29.0%）、農業部門向けが1,794億リアル（同26.4%）、海外向けが303億リアル（同4.5%）となっている（図表13）。

個人向け貸出残高の内訳を見ると、銀行にとってリスクの低い給与天引きローン（payroll loans）が全体の38%を占め、最も多い。その他では、住宅ローン（mortgage、構成比23%）、クレジットカード（credit card、同15%）、月給ローン（salary loans、同9%）、消費者ファイナンス（consumer finance、同5%）と続く（図表14）。

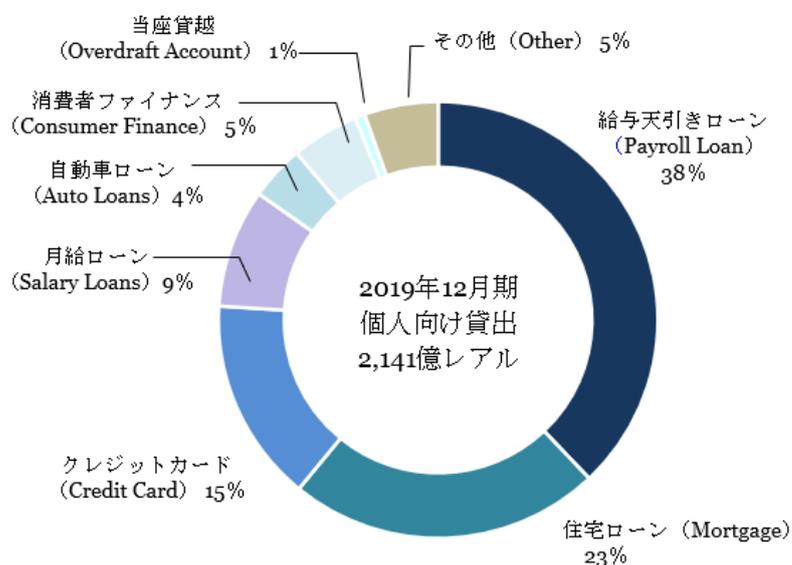
図表 13: ブラジル銀行（連結）の貸出残高内訳（百万レアル）

	2016	2017	2018	2019		
				(構成比)	(伸び率)	
個人向け	187,431	187,336	196,654	214,070	31.4%	8.9%
給与天引きローン	67,465	67,465	71,037	81,199	11.9%	14.3%
月給ローン	18,793	18,793	18,611	18,812	2.8%	1.1%
消費者ファイナンス	4,720	4,720	7,327	10,640	1.6%	45.2%
自動車ローン	14,796	14,796	10,363	8,681	1.3%	-16.2%
住宅ローン	44,572	44,572	48,455	49,234	7.2%	1.6%
クレジットカード	25,655	25,655	29,180	32,302	4.7%	10.7%
当座貸し越し	1,951	1,951	1,658	1,573	0.2%	-5.2%
その他	9,385	9,385	10,022	11,628	1.7%	16.0%
法人向け	249,204	232,386	221,596	197,523	29.0%	-10.9%
農業部門向け	179,111	181,381	187,193	179,423	26.4%	-4.2%
海外	37,845	36,704	36,428	30,329	4.5%	-16.7%
その他	54,467	48,846	57,098	59,382	8.7%	4.0%
合計	708,059	686,652	698,969	680,727	100.0%	-2.6%

(出所) ブラジル銀行 "Financial Statements 2019 Results" 等

<http://www.bb.com.br/pbb/pagina-inicial/investor-relations#/> (閲覧日: 2020年4月12日)

図表 14: 2019年12月末:個人向け貸出残高の内訳



(注) 個人向け貸出残高を100%とした構成比。

(出所) ブラジル銀行 "Financial Statements 2019 Results" 等

<http://www.bb.com.br/pbb/pagina-inicial/investor-relations#/> (閲覧日: 2020年4月25日)

次に、預金残高の内訳を見ると、要求払預金の構成比が13.8%、貯蓄預金が35.2%、銀行間預金が5.7%、定期預金が45.3%となっている(2019年12月末)(図表15)。

図表 15: ブラジル銀行（連結）の預金残高内訳（百万レアル）

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		
										(構成比)	(伸び率)	
要求払預金	63,503	62,016	74,760	75,818	74,224	66,550	69,349	69,981	67,811	71,067	13.8%	4.8%
貯蓄預金	89,288	100,110	117,744	140,728	148,699	151,845	151,763	160,290	174,855	180,943	35.2%	3.5%
銀行間預金	18,998	14,450	16,569	27,155	30,354	41,483	20,665	24,153	33,669	29,128	5.7%	-13.5%
定期預金	204,652	265,809	263,011	247,311	214,899	204,542	204,150	195,629	209,492	232,750	45.3%	11.1%
その他	410	0	0	0	0	0	53	177	211	243	0.05%	15.1%
合計	376,851	422,386	472,085	491,013	468,176	464,420	445,981	450,229	486,037	514,131	100.0%	5.8%

(出所) ブラジル銀行”Financial Statements 2019 Results”等

<http://www.bb.com.br/pbb/pagina-inicial/investor-relations#/> (閲覧日: 2020年4月20日)

2. 連邦貯蓄銀行 (CAIXA)

(1) 連邦貯蓄銀行の特徴

連邦貯蓄銀行は1861年に設立された100%政府保有の銀行であり、ブラジル経済省 (Ministry of Economy) 傘下の機関として、都市開発やインフラ整備、低所得者向けのサービス提供など、ブラジルの社会経済発展を推し進めながら拡大してきた³⁹。連邦貯蓄銀行は、勤続年数保障基金 (FGTS⁴⁰) の口座を管理し、その資金や貯蓄預金を原資として低利での住宅資金供給を担っている。

現在は独自の支店・サービスポイント 4,129 カ所に加えて、宝くじ売場やその他コレスポンデント・バンキングの拠点約 21,158 カ所等、合計約 53,924 カ所の拠点でサービスを展開している (2019年12月末)。国内の全自治体を網羅するなど、同国政府が重要課題に掲げる国民の金融サービスへのアクセス改善に寄与してきた。また、日本、米国、ベネズエラに駐在員事務所を開設している (2016年12月末)。

ボルソナロ政権が進める民営化政策の一環で、ブラジル銀行同様、連邦貯蓄銀行も資産売却を進めている。具体的には、保険、資産管理、宝くじ、クレジットカードの4つの子会社について、保有株式比率を引き下げ、新規株式公開 (IPO) を実施する予定となっている⁴¹。

(2) 金融市場の中での連邦貯蓄銀行の競争力

連邦貯蓄銀行の総資産は1.3兆レアル (前年比 2.3%増)、貸出残高 6,493 億レアル (同 0.3%増)、預金残高 5,350 億レアル (同 2.6%増) となっている (図表 16)。総資産はイタウ銀行 (Banco Itau)、ブラジル銀行に続いて国内シェア第3位であるが、貸出残高、預金残高では第1位となっている (2019年12月末) (図表 17)。

³⁹ 現在の連邦貯蓄銀行の根拠法は Decree Law No. 759, August 12, 1969。

⁴⁰ 企業退職金に相当する制度で、雇用者側の企業に対し、従業員の退職手当の積立てを義務付けている。納付額は、給与支給額の8%。ジェトロ HP ブラジル税制 https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/br/invest_o4.html

⁴¹ Reuters, "Brazil's Caixa wants to speed up IPOs of its subsidiaries," 2019年1月30日

図表 16: 連邦貯蓄銀行（連結）の財務諸表（百万リアル）

	2016	2017	2018	2019	2018→ 2019 前年比
資産	1,255,452	1,260,699	1,263,879	1,293,015	2.3%
現金等	10,764	11,452	9,272	13,058	40.8%
インターバンク金融商品	157,075	144,233	174,660	180,434	3.4%
有価証券・デリバティブ	181,344	188,135	199,799	213,994	7.1%
中銀当座預金等	148,480	155,488	130,124	125,252	-3.7%
貸出	661,437	658,235	647,561	649,283	0.3%
その他	96,352	103,225	102,463	110,991	8.3%
負債	1,191,818	1,190,114	1,183,337	1,212,361	2.5%
預金	512,191	506,226	521,260	534,950	2.6%
レボ取引による有価証券	154,094	117,528	63,550	50,676	-20.3%
その他	525,533	566,360	598,525	626,735	4.7%
株主資本	63,634	70,585	80,542	80,654	0.1%
金融仲介関連収益	149,697	133,401	111,717	113,933	2.0%
貸出業務	94,191	88,516	78,950	71,097	-9.9%
証券	50,681	36,642	26,025	39,412	51.4%
その他	4,825	8,242	6,742	3,424	-49.2%
金融仲介関連費用	125,596	102,191	75,681	66,844	-11.7%
業務粗利益	24,101	31,209	36,036	47,088	30.7%
営業経費	20,066	16,666	19,388	24,736	27.6%
業務純益	4,035	14,543	16,649	22,352	34.3%
税引前利益	3,762	13,946	13,564	22,420	65.3%
純利益	4,137	12,488	10,355	21,057	103.4%

(出所) 連邦貯蓄銀行 “Individual and Consolidated Financial Statements” 各年版

http://www.caixa.gov.br/Downloads/caixa-governanca/Financial_Report_2019.pdf (閲覧日: 2020年4月25日)

図表 17: 国内上位 3 行の比較（連結ベース、2019 年 12 月）

	総資産 (百万リアル)	貸出残高 (百万リアル)	預金残高 (百万リアル)	支店数 (店)
イタウ銀行	1,637,481	585,791	507,060	3,099
ブラジル銀行	1,469,223	528,882	514,131	4,356
連邦貯蓄銀行	1,293,015	649,283	534,950	3,373

(出所) 各行 Financial Statement より作成 (閲覧日: 2020年4月25日)

イタウ銀行 “Complete Financial Statements in IFRS” December 31, 2019 等

<https://www.itaubank.com.br/relacoes-com-investidores/Download.aspx?Arquivo=9L41xmO7oD2tc/RzN3EK6A==>

ブラジル銀行 “Financial Statements 2019 Results” 等

<http://www.bb.com.br/pbb/pagina-inicial/investor-relations#/>

Annual Report 2019

連邦貯蓄銀行 “Consolidated Financial Statements”

http://www.caixa.gov.br/Downloads/caixa-governanca/Financial_Report_2019.pdf

貸出残高のうち、同行が強みとする住宅ローン（4,644 億リアル）が 67%と過半を占めている（図表 18）。個人向け貸出は給与天引きローン（payroll deduction loans）など合計 819 億リアルであるが、個人向けが大半の住宅ローンを合わせると 5,463 億リアルとなり、貸出残高全体の 7割以上に達する。

住宅ローンはブラジル銀行の 10 倍近い規模に達する一方、個人向けの給与天引きローンは 624 億リアル（個人向け貸出残高の 76%）と、ブラジル銀行とほぼ同水準となっている（図表 19）。

2019 年 12 月末の預金残高の合計 5,350 億リアルのうち、要求払預金と貯蓄預金の個人の残高合計は 3,331 億リアルであり、全体の 62%を占める（図表 20）。

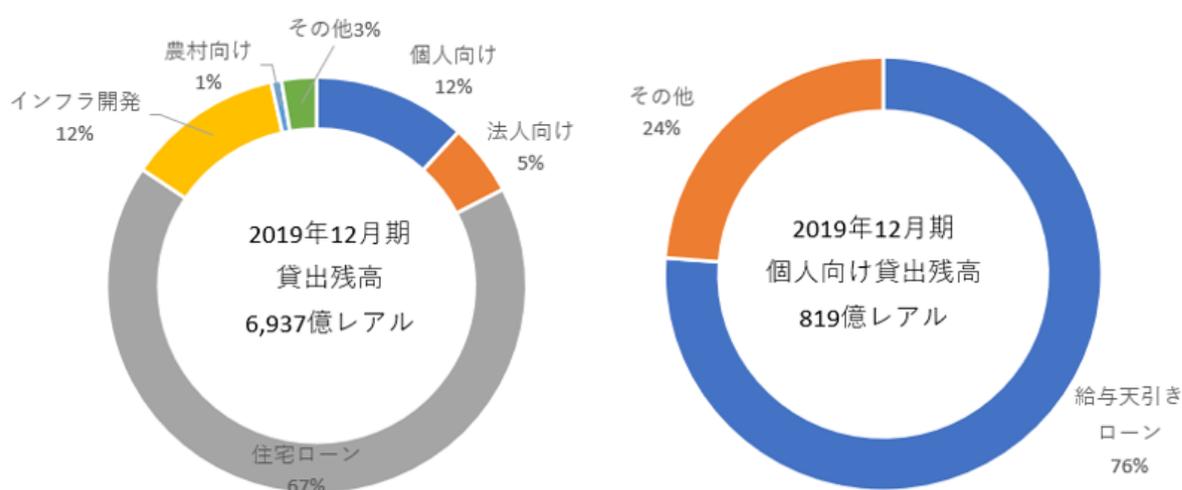
図表 18: 連邦貯蓄銀行（連結）の内容別貸出残高内訳（百万リアル）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		
							(構成比)	(伸び率)	
貸出金	141,040	150,625	163,744	160,465	144,709	126,495	116,913	16.9%	-7.6%
ファイナンス	31,005	39,895	35,921	31,303	17,623	11,330	4,223	0.6%	-62.7%
農業部門	1,997	4,915	7,489	7,217	6,914	7,538	5,399	0.8%	-28.4%
住宅ローン	270,392	339,839	384,176	405,495	431,188	444,044	464,389	66.9%	4.6%
インフラ開発	36,838	56,482	70,658	78,379	82,608	84,276	84,084	12.1%	-0.2%
その他	12,964	15,174	17,499	26,429	23,233	20,835	18,716	2.7%	-10.2%
合計	494,237	606,930	679,487	709,288	706,276	694,519	693,724	100.0%	-0.1%

（出所）連邦貯蓄銀行 “Consolidated Financial Statements” 各年版

<http://www.caixa.gov.br/site/english/financial-information/Paginas/default.aspx> （閲覧日：2020 年 4 月 25 日）

図表 19: 連邦貯蓄銀行（連結）の部門別貸出残高内訳



（出所）連邦貯蓄銀行 “Performance Analysis Report 2019” （閲覧日：2020 年 4 月 20 日）

<http://www.caixa.gov.br/site/english/financial-information/Paginas/default.aspx>

http://www.caixa.gov.br/Downloads/caixa-demonstrativo-financeiro/Management_Report_2019.pdf

図表 20：連邦貯蓄銀行（連結）の預金残高内訳（百万リアル）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		
							(構成比)	(伸び率)	
要求払預金	25,171	27,014	27,415	31,883	32,399	30,446	35,776	6.7%	17.5%
個人	10,193	12,323	12,800	15,150	15,572	14,961	16,578	3.1%	10.8%
法人	11,822	11,551	10,704	12,609	12,246	11,553	14,142	2.6%	22.4%
政府	1,055	918	1,343	1,569	1,511	1,067	1,211	0.2%	13.5%
その他	2,100	2,221	2,567	2,555	3,069	2,864	3,844	0.7%	34.2%
貯蓄貯金	209,574	236,836	241,363	252,403	276,693	298,353	321,189	60.0%	7.7%
個人	205,688	234,391	237,999	248,302	272,496	293,963	316,552	59.2%	6.1%
法人	3,883	2,442	2,482	2,062	2,012	2,068	2,165	0.4%	4.7%
その他	2	2	881	2,039	2,186	2,322	2,472	0.5%	6.5%
銀行間預金	2,354	3,664	2,427	608	577	372	131	0.0%	-64.8%
定期預金	113,516	143,055	168,918	210,689	185,643	178,254	166,765	31.2%	-6.4%
その他	10,155	8,476	14,539	16,607	10,913	13,836	11,089	2.1%	-19.9%
合計	360,770	419,046	454,662	512,191	506,226	521,261	534,950	100.0%	2.6%

(出所) 連邦貯蓄銀行 “Consolidated Financial Statements” 各年版

<http://www.caixa.gov.br/site/english/financial-information/Paginas/default.aspx> (閲覧日：2020年5月1日)

3. 信用組合 (credit unions)

(1) 信用組合の特徴

信用組合は 2019 年末にブラジル全土で 872 組合を擁し、地域密着型金融を実施する業態で、特に地方居住者や低所得層へのサービス提供を中心としている。ブラジル中央銀行の統計によると、信用組合の総資産と貸出残高はそれぞれ 2,948 億リアル、1,167 億リアルである (2018 年 12 月末) ⁴²。

信用組合の合計預金残高は 1,338 億リアルであり、国内金融機関の預金残高に占めるシェアは約 5.2%に過ぎないが、大手銀行等にアクセスすることができない国民にとっては重要な役割を果たしている (2018 年 12 月末) (図表 21)。

図表 21：信用組合の財務諸表（百万リアル、%）

		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
総資産	百万リアル	103,544	124,318	150,916	182,507	221,774	255,979	294,783
	国内金融機関に占める割合	2.0%	2.2%	2.4%	2.6%	3.1%	3.6%	3.8%
貸出残高	百万リアル	45,511	57,825	68,029	76,279	83,692	95,118	116,681
	国内金融機関に占める割合	2.3%	2.5%	2.6%	2.5%	3.1%	3.6%	4.2%
預金残高	百万リアル	46,907	56,348	68,491	82,962	103,525	113,801	133,771
	国内金融機関に占める割合	2.8%	3.1%	3.6%	4.1%	5.0%	5.0%	5.2%
機関数 Quantitativo de instituições autorizadas		1,269	1,209	1,163	1,113	1,078	1,023	973
サービス拠点数 Posto de Atendimento		4,969	5,092	5,342	5,547	5,727	5,949	6,340

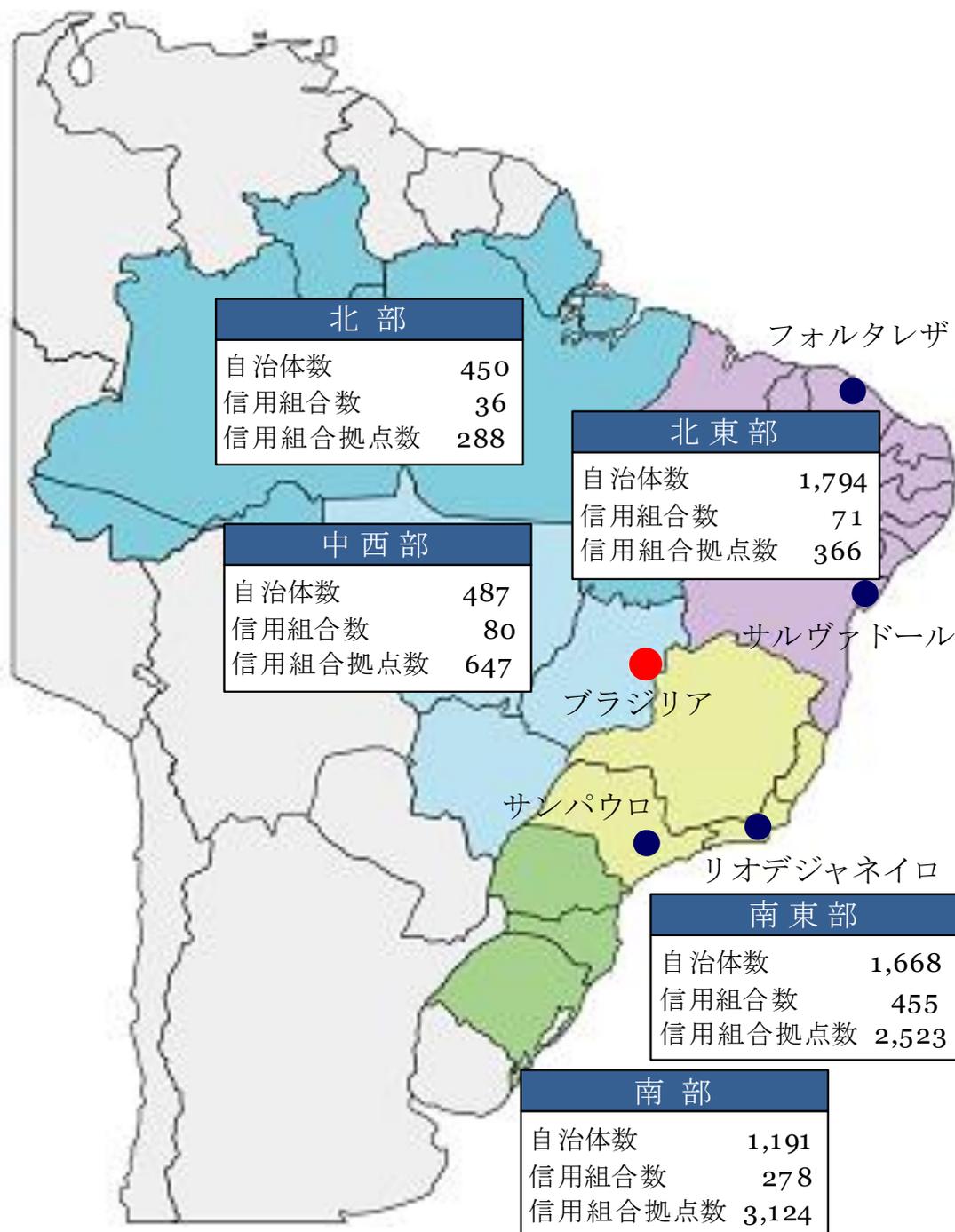
(出所) ブラジル中央銀行 “Relatórios anuais 2018 Dezembro”

<https://www.bcb.gov.br/?REVSN> (閲覧日：2019年5月22日)

⁴² ブラジル中央銀行 Sistema Financeiro Nacional - Evolução do Sistema Financeiro Nacional-Relatórios anuais 2018 Dezembro <https://www.bcb.gov.br/?REVSN> (閲覧日：2019年5月22日)

地理的に見ると、特に南東部、南部に信用組合及びその拠点数が多く分布している(図表 22)。

図表 22: 信用組合の分布図 (2019 年 12 月末)



(出所) ブラジル中央銀行ウェブサイトをもとに作成。地図は白地図 <http://www.freemap.jp/> より利用。
(閲覧日: 2020 年 5 月 10 日)

ブラジルの信用組合は、Sicredi、Sicoob、Unicred、Confesol、Cecred、Uniprime 等と称されるグループに分かれている。これらのグループはそれぞれ職域等が共通する信用組合から構成されている。1990年代半ばにグループ制度が導入されたことにより、各グループの資産運用制度が統一され、またバックオフィス業務等を各グループが一元的に行なうようになったことで、個別の信用組合にかかる負担は軽減された。

預金残高をグループ別に見ると、Sicoob (Sistema de Cooperativas de Crédito do Brasil) と Sicredi が拮抗している。このうち Sicredi は、信用組合数は 114 組合と Sicoob の 450 を大きく下回るが、組合員数は 402 万と Sicoob の 440 万人に匹敵する。Sicredi は 1,279 の窓口と 3,800 台以上の ATM を設置し、総資産額は 950 億リアル、預金残高は 605 億リアルである (2018 年 12 月末) (図表 23)。

なお、Sicredi は 2011 年 6 月 7 日、オランダの協同組合金融機関ラボバンク (Rabobank) グループで途上国開発を担当する Rabo Development B.V. と投資協定を締結し、情報交換やノウハウの共有を行っている。ラボバンクは Sicredi の自己資本のうち 22.17% を保有している⁴³。

図表 23: Sicoob と Sicredi の概要 (2018 年)

	Sicoob	Sicredi
会員数	4,395,878	4,020,991
信用組合数	450	114
拠点数	2,910	1,279
エージェント数	910	1,494
ATM 設置台数	4,559	3,824
総資産 100 万リアル	104,538	95,073
預金残高 100 万リアル	64,983	60,486
貸出残高 100 万リアル	51,910	29,669

(注) Sicredi の ATM 設置台数は 2016 年時点。

(出所) Sicoob, Relatório Anual 2018, Sicredi, 2018 Sustainability Report

⁴³ Sicredi “Combined Financial Statements 2016”

4. 家計金融資産・負債の動向

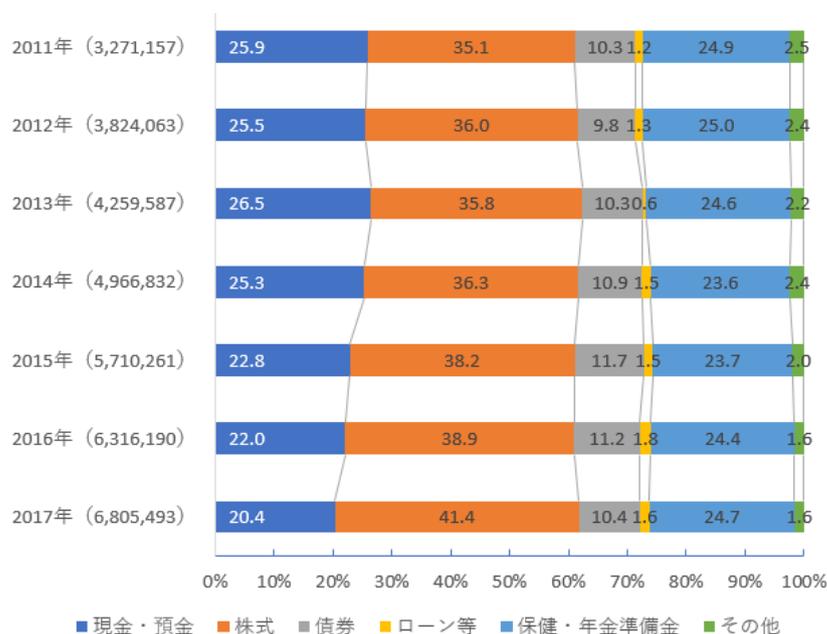
(1) 家計金融資産

ブラジル地理統計院によると、2017年のブラジルの家計金融資産は6兆8,055億リアルで、一人当たり家計金融資産は、32,909リアルであった⁴⁴。

ブラジルでは税制の恩恵を受け、家計金融資産に占める有価証券の割合が比較的高い。2017年のデータによると、家計金融資産に占める株式の割合は41.4%で、現金・預金の保有比率の2.0倍に相当している（図表24）。

図表 24: 家計金融資産保有の残高構成

(括弧内の数値は合計値、単位:100万リアル)



(注) 家計および対家計民間非営利団体を対象。

(出所) ブラジル地理統計院⁴⁵をもとに作成

(2) 家計金融負債

ブラジル地理統計院によると、2017年のブラジルの家計金融負債は2兆5,035億リアルで、一人当たり家計金融負債は、12,106リアルであった。

負債の内訳をみると、74.6%が借入、25.2%がその他負債（前払金等）となっている。借入の内訳をみると、短期借入11.6%、長期借入63.0%と圧倒的に長期借入が多く、長期借入の大半を住宅ローンが占めていると推察される。

⁴⁴ 2017年12月末の人口（IMFによると、206.8百万人）で除している。

⁴⁵ ブラジル地理統計院、

2016 Sistema de contas-nacionais: Tabelas “Instituições sem fins de lucro a serviço das famílias - 2000-2016”
<https://www.ibge.gov.br/estatisticas/economicas/contas-nacionais/9052-sistema-de-contas-nacionais-brasil.html?=&t=resultados>（閲覧日：2020年5月20日）

5. 金融システム全体におけるリテール金融機関の位置づけ

(1) リテール金融機関の預金・貸出シェア

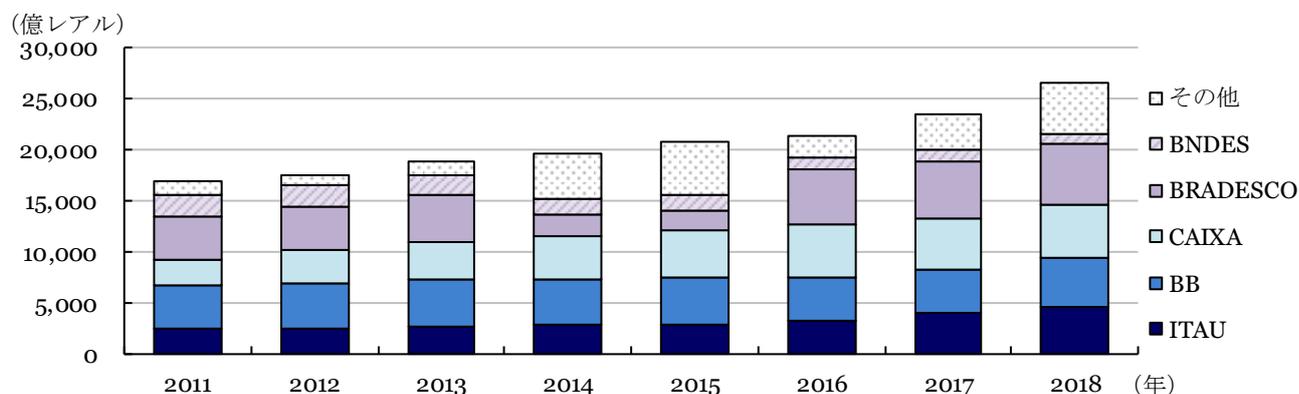
国内金融機関全体の預金残高に占める代表的なリテール金融機関のシェアをみると、連邦貯蓄銀行 20.8%、ブラジル銀行 19.4%、信用組合 5.2%となっている。同様に貸出残高についてみると、連邦貯蓄銀行 22.3%、ブラジル銀行 19.0%、信用組合 4.2%となっている（2018 年末）⁴⁶。

(2) 預金等の受入れ

図表 25 のグラフは、ブラジル国内の金融機関（銀行、ファイナンスカンパニー、信用組合等を含む）の預金残高（total deposits）全体の推移を、国内総資産上位 5 行（イタウ銀行:ITAU、ブラジル銀行:BB、連邦貯蓄銀行:CAIXA、ブラデスコ銀行:BRADESCO、経済社会開発銀行:BNDES）を内数として表した。ブラジルの金融機関で預入されている預金残高は、2011 年の 1 兆 6,861 億レアルから 2018 年 2 兆 6,558 億レアルまで、1.6 倍に拡大している。

図表 25: 預金残高（金融機関全体）の推移（億レアル）

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
預金残高合計	16,861	17,596	18,824	19,745	20,897	21,348	23,460	26,558
上位 5 行預金残高	15,627	16,567	17,514	15,314	15,566	19,322	17,214	21,550
上位 5 行シェア	92.7%	94.2%	93.0%	77.6%	74.5%	90.5%	73.4%	81.1%



(出所) ブラジル中央銀行 “financial and regulatory information database”、各行アニュアルレポート⁴⁷をもとに作成

⁴⁶ 図表 4、図表 21。

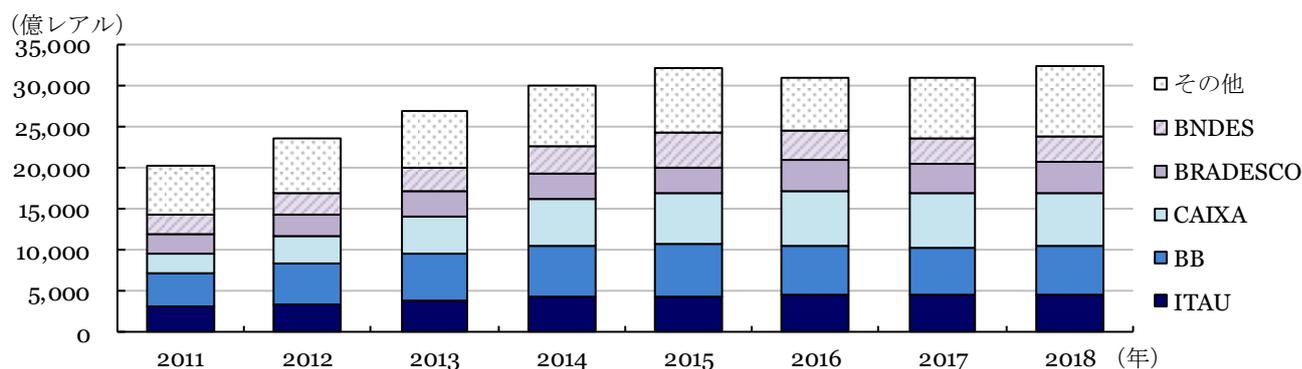
⁴⁷ BNDES “Accounting Report”、Bradesco “Report on Economic and Financial Analysis”、CAIXA Bank “Consolidated Financial Statement”、Itaú Unibanco “Financial Statements in IFRS”、Banco do Brasil “Financial Statements”
(閲覧日: 2020 年 5 月 8 日)

(3) 資金の貸付等

図表 26 は、ブラジル国内の金融機関の貸出残高 (loan and leases) 全体の推移を、国内総資産上位 5 行を内数として表した。2011 年 12 月末の貸出残高は 2.0 兆リアルだったが、2018 年 12 月末には 3.3 兆リアルと 1.6 倍の規模に拡大している。

図表 26: 貸出残高 (金融機関全体) の推移 (億リアル)

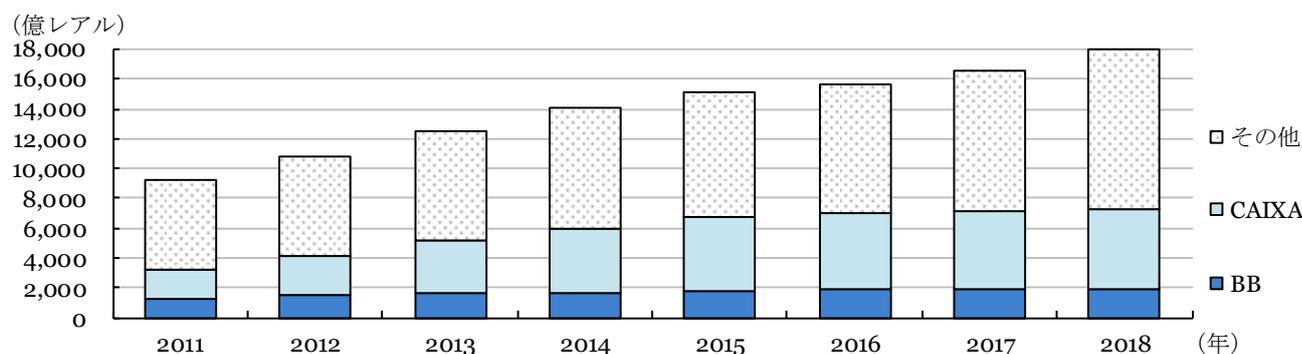
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
貸出残高合計	20,340	23,683	27,113	30,175	32,193	31,062	31,021	32,577
上位 5 行貸出残高	14,306	16,980	20,076	22,712	24,286	24,520	23,766	24,012
上位 5 行シェア	70.3%	71.7%	74.0%	75.3%	75.4%	78.9%	76.6%	73.7%



同様に、図表 27 では個人向け貸出残高の推移を、ブラジル銀行、連邦貯蓄銀行を内数として示した。個人消費の増加に伴い、貸出残高は 2011 年 12 月末の 9,203 億リアルから 2018 年 12 月末には 1 兆 7,927 億リアルまで、1.9 倍の規模に拡大した。個人向け貸出残高に占めるブラジル銀行、連邦貯蓄銀行の 2 行合計シェアは、2018 年 12 月末で 40.8%となった。

図表 27: 貸出残高 (個人向け) の推移 (億リアル)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
貸出残高(個人)	9,203	10,741	12,458	14,121	15,122	15,609	16,563	17,927
ブラジル銀行(個人)	1,306	1,519	1,679	1,676	1,826	1,874	1,873	1,967
連邦貯蓄銀行(個人)	1,867	2,598	3,530	4,348	4,873	5,161	5,330	5,343
2 行合計シェア	34.5%	38.3%	41.8%	42.7%	44.3%	45.1%	43.5%	40.8%



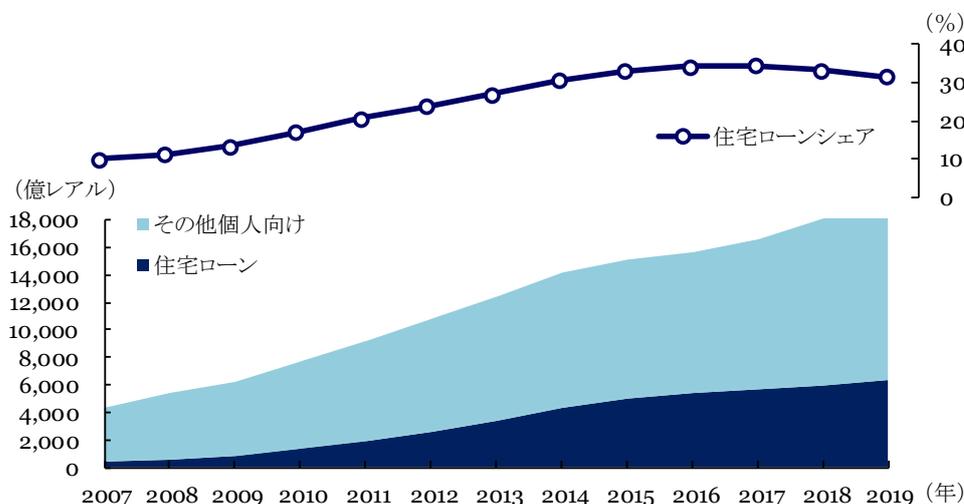
融資商品別で見ると、個人向け住宅ローンの貸出が増えている。住宅ローン貸出残高は、2011年の1,894億リアルから、2019年には6,383億リアルへと3.4倍に拡大している。一方、住宅ローン以外の個人向け貸出残高は同期間に約1.9倍の伸びにとどまっており、個人向け貸出に占める住宅ローンのシェアは同期間に20.6%から31.6%へと上昇している（図表28）。

ブラジルでは、1964年8月21日付法律第4380号により、住宅金融システム（Sistema Financeiro de Habitação, SFH）が創設され、金融機関は預託された貯蓄預金（saving deposits）残高の一定割合（65%⁴⁸）以上を住宅ローン向けに貸し出すことを義務付けられており、貯蓄預金の増加に合わせて貸出が拡大する形になっている。2015年、2016年は、ブラジル経済が2年連続マイナス成長となるなど深刻な景気後退局面に陥ったこと等を背景に、貯蓄預金残高の増勢は頭打ちになった一方⁴⁹、住宅ローンの貸出残高は増加が続いた（図表29）。

住宅ローンの拡大の背景には、2008年の世界的な金融危機後の景気対策の一環としてブラジル政府が2009年に導入した中低所得層向けの住宅取得促進策（Programa Minha Casa, Minha Vida : PMCMV「私の家、私の人生」計画）がある。

PMCMVによる住宅ローンには、市中金利より低い金利の適用に加え、不動産登記費用や融資に係る保険料の減免等の恩典がある。連邦貯蓄銀行は、PMCMVの融資機関となっており、貯蓄預金に加え、勤続年数保証基金（FGTS、脚注40参照）の一定割合を住宅ローン向けに貸し出すことを義務付けられている。近年の住宅ローンの供給拡大は連邦貯蓄銀行を通じたPMCMVによるところが大きいとみられる。

図表28：貸出残高（個人向け）の推移（億リアル）



(出所) ブラジル中央銀行 “Monetary and credit statistics”

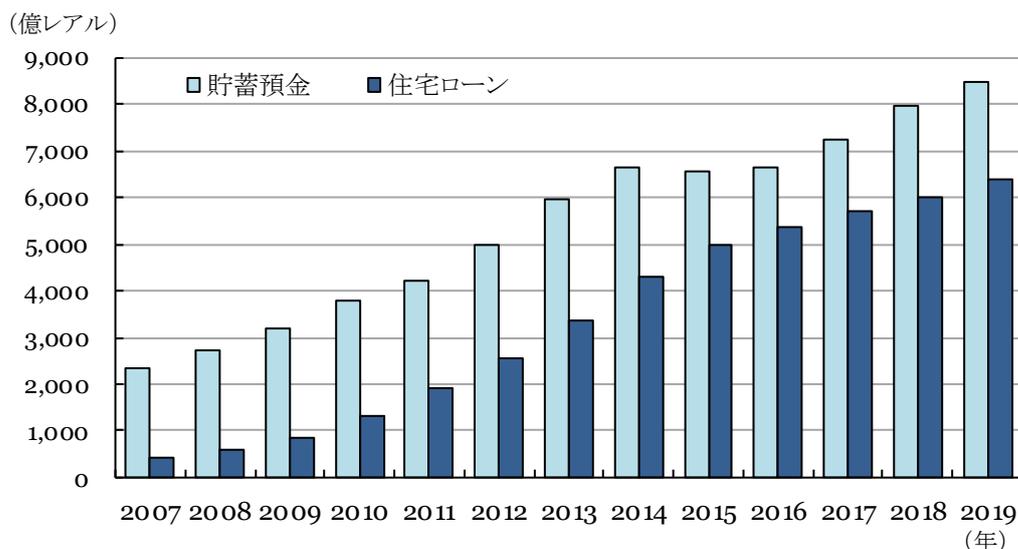
⁴⁸ 2016年12月16日付国家通貨審議会（CMN）決議第3932号（Resolution3932）による。住宅ローンのうち8割はSFHに基づく金利が適用され、2割は市場金利に基づき貸出金利が決定される。

Housing Finance Network - Brazil
<https://www.housing-finance-network.org/index.php?id=281>

⁴⁹ 政策金利の引き上げの一方で、貯蓄預金の利率は硬直的であるため、預貯金が別の商品に向かったことも、貯蓄預金残高の増勢が止まった背景として指摘されている。

Fitch Ratings 「Brazil's Deposit Decline Further Constrains Mortgages」（2015年5月5日）

図表 29: 貯蓄預金残高と住宅ローンの推移



個人向け貸出が増加するなか、不良債権比率（90日以上延滞債権が貸出残高に占める比率）は総じて低位安定している。景気後退局面にあった2015年には、不良債権比率は4.2%に上昇したが、2019年には3.5%まで低下した。急拡大している住宅ローンについても、不良債権比率は1.4%にとどまっている。

(4) 個人向け貸出金利の動向

ブラジルの貸出金利は世界的にみて高い水準にある。高金利の背景としては、財政状況、国内貯蓄率の低さ、過去のハイパーインフレ等のマクロ経済環境⁵⁰に加え、大手行への預金・貸出の集中（競争環境）や、政策的に義務付けられる貸出（Earmarked loans）⁵¹に適用される金利（Earmarked rates）の存在、高い法定預金準備率等、ブラジル金融システム固有の特徴が影響していると考えられる。

ブラジルの政策金利（SELIC 金利）は、インフレ抑制のため2015年に14.25%まで引き上げられた後、景気刺激のための積極的な金融緩和の実施により2016年末から引き下げプロセスが始まり、17年12月から史上最低水準を更新し続けている。2020年8月5日から2.0%という未曾有の低水準に設定されている⁵²。2017年以降、個人向け貸出金利も全般に低下傾向にはあるが、全体で年利28.3%（2019年12月、以下同）の高水準にある。当座貸越は248%、クレジットカードローン金利は65%、自動車ローンは19%となっている。その他の個人向けローンは、債務不履行リスクが低い給与天引きローンは21%だが、給与天引き以外については95%の高金利となっている（全体では37%）。住宅ローンについては、上述の住宅金融システム（SFH）に基づき低利の金利が適用される貸出が大半を占めるため、全体としても8%程度と相対的に低くなっている（図表30）。低金利での貸出を義務付けられていることから、それ以外

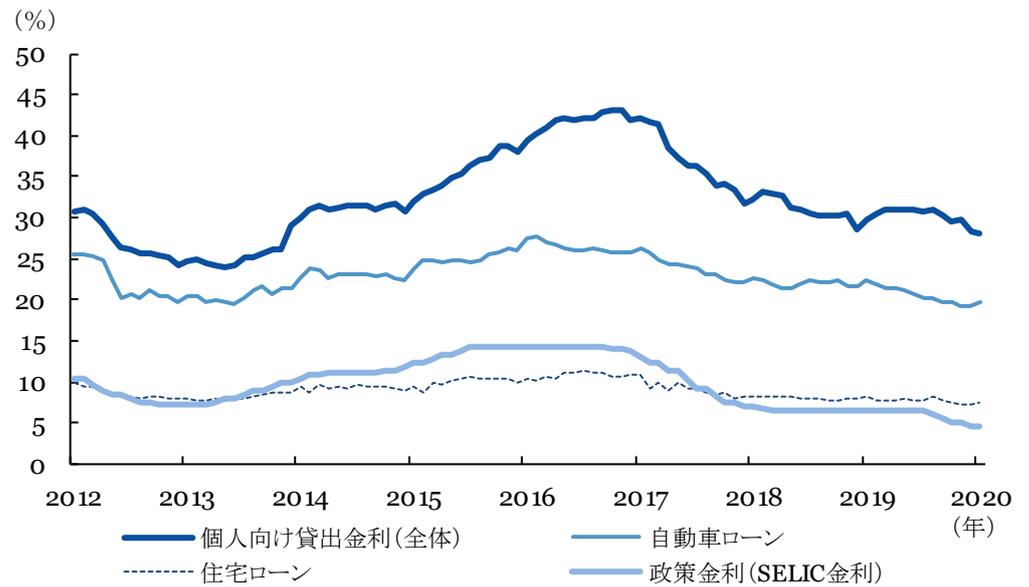
⁵⁰ Segura-Ubierno, Alex. “The Puzzle of Brazil’s High Interest Rate” IMF Working Paper NO.12/62, February 1, 2012

⁵¹ Earmarked Loans は2018年末時点で銀行貸出全体の47%を占める。ブラジル中央銀行「Monetary and credit statistics」

⁵² 2021年1月31日現在、2.0%が継続。ただし、2021年に入って中銀は引き締め局面への転換を示唆している。

の貸出金利の水準は高く設定されている。

図表 30: 個人向け貸出金利の推移



(出所) ブラジル中央銀行 “Monetary and credit statistics” (閲覧日: 2020年3月12日)

第5章 最近の金融動向と今後の展望

1. 最近の金融動向

(1) 金融包摂の促進に向けたアクションプランの策定と現状

ブラジル国内における金融包摂の促進を目指す動きの中で、ブラジル政府は、2009年にはG20による金融包摂に関する会合にも参加している。ブラジル政府は、国家開発計画において、ソーシャル・インクルージョン政策（社会包摂:貧困層など社会から取り残された人々を取り込む政策）による持続的な経済成長及び社会開発を重点政策として掲げている⁵³ほか、2011年に発表した「貧困なきブラジル」プログラムにおいても、極度の貧困人口（貧困ライン以下で生活する約1,600万人）における社会・生産的包摂の促進を図るとしている⁵⁴。

ブラジルにおける金融包摂をより効果的に進めるための環境の強化を目的として、ブラジル政府は2012年から2014年を対象期間とするアクションプランを策定している。①金融包摂に関する現状把握（situation assessment）、②法的規制（regulation）の改善、③金融リテラシーと透明性（financial literacy and transparency）という3つの重点課題（priority lines of action）を設定したうえで、次の8つの活動を展開している。

- (1) マイクロ企業家や小企業に対する効果的な支援を行うために、マイクロクレジットやマイクロファイナンス専門機関の規制枠組みを整備する
- (2) 国民の金融ニーズに適合するよう、金融サービスの多様化と改善を進める
- (3) 携帯端末を使用した支払のための法的フレームを整備する
- (4) 金融サービス提供のためのネットワークを強化する
- (5) 金融リテラシーの向上を図る
- (6) 金融サービス利用者の保護のため、自身の権利及び係争解決手続きについて認識を高めるため努力を行う
- (7) 金融包摂の状況を的確に把握し、その状況に応じた金融包摂の政策策定ができるよう、より良い方策を策定する
- (8) 国民の金融サービスを利用するに当たっての行動と認識の調査を実施する

こうした金融包摂を目指す動きの成果として、ブラジル全土の5,587の市町村が最低一つの金融サービスへのアクセスポイントを持つようになった。世界銀行の調査によると⁵⁵、15歳以上で金融機関の口座を持つ人口の割合は、2011年の56%から2017年に70%へと上昇している⁵⁶。デビットカードの保有比率は同期間に41%から59%に上昇している一方、クレジットカードの保有比率は29%から27%に低下している。過去1年間に電子決済を行ったことがあるとの回答比率は、2014年の50%から2017年

⁵³ ブラジル企画予算管理省ウェブサイト <http://www.planejamento.gov.br/noticia.asp?p=not&cod=7571&cat=155&sec=10>

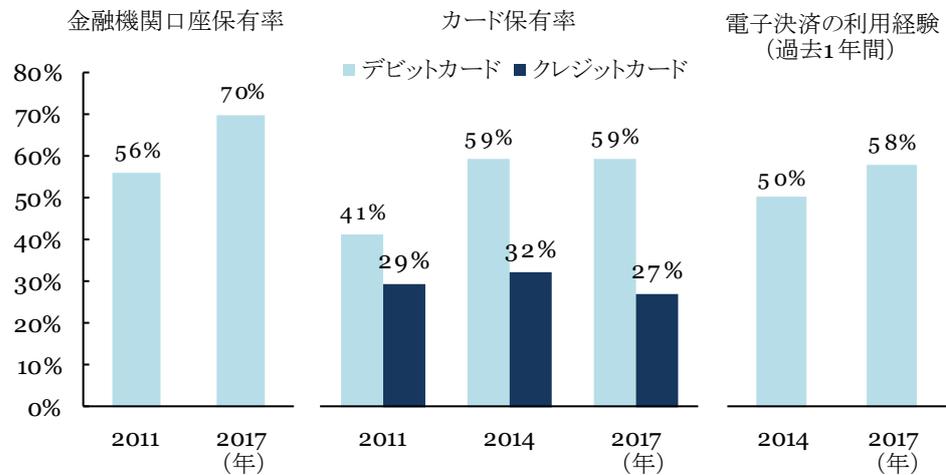
⁵⁴ 外務省ウェブサイト http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/g20/cannes2011/annex01b_j.html

⁵⁵ 世界銀行 “The Global Findex Database 2017” <https://globalfindex.worldbank.org/>

⁵⁶ ブラジル中央銀行の調査では、15歳以上の口座保有割合は2017年時点で86.5%とされる。ブラジル中銀は、金融機関が提供している口座情報から算出している一方、世界銀行調査はアンケート調査で保有の有無を尋ねた結果であるため、長期にわたり取引を行っていない利用者の存在等により乖離が生じている可能性がある。“Report on Financial Citizenship 2018” https://www.bcb.gov.br/Nor/reincfin/Relatorio_Cidadania_Financeira_2018_ingles_30_janeiro.pdf

に58%に上昇している（図表31）。

図表31: 15歳以上の口座保有率・カード保有率・電子決済利用経験



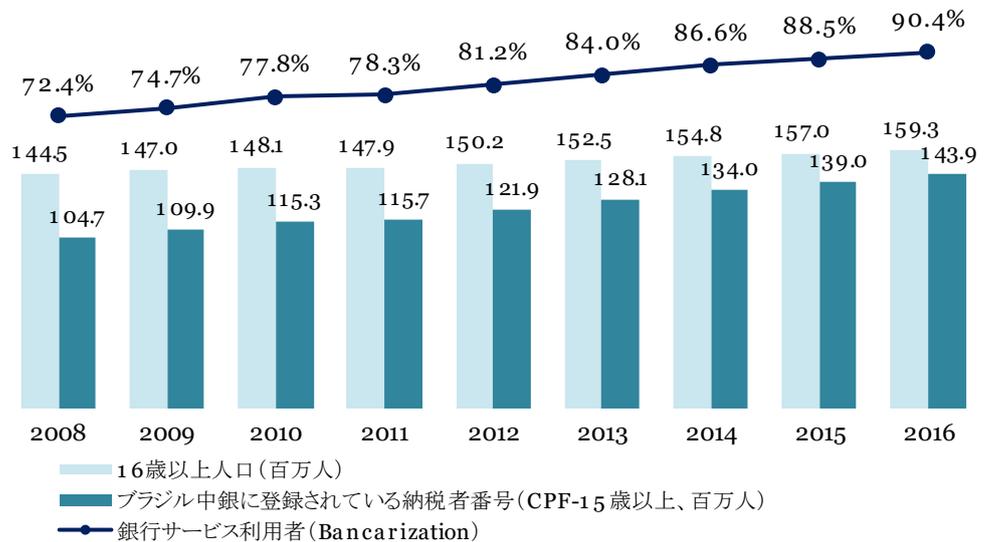
(注) 15歳以上が対象。

(出所) 世界銀行, “The Global Findex Database 2017” <https://globalfindex.worldbank.org/>

(閲覧日: 2020年5月10日)

また、銀行口座開設のほか、不動産売買、年金受給等の様々な金融取引を通じた銀行サービス利用者は着実に増加している。ブラジル銀行協会（FEBRABAN）は、銀行サービス利用率（bancarization rate）を、ブラジル中央銀行に登録されている有効な納税者番号（CPF、15歳以上）が16歳以上人口に占める割合と定義しており、同比率は2008年の72.4%から2016年には90.4%まで上昇している（図表32）⁵⁷。

図表32: 銀行サービス利用者（Bancarization rate）



(注) CPFとは、ブラジル連邦税務局が個人に対し交付する11桁の納税者番号。銀行口座開設、不動産等の売買、年金受給、その他の金銭取引を行う際に必要となる。

(資料) Brazilian Federation of Banks “2017 FEBRABAN Banking Technology Survey”

<https://portal.febraban.org.br/pagina/3106/48/en-us/survey> (閲覧日: 2020年4月27日)

⁵⁷ Brazilian Federation of Banks (Febraban) “2017 FEBRABAN Banking Technology Survey” <https://portal.febraban.org.br/pagina/3106/48/en-us/survey>

(2) ブラジル中央銀行による金融包摂の取り組み

ブラジル中央銀行は、金融包摂、金融教育、消費者保護に関する総合的な取り組みとして、2013年より **Financial Citizenship Program**（金融市民権プログラム）を開始し、主要な政策課題の1つと位置付けている⁵⁸。

Financial Citizenship Program の目的としては、①金融教育のレベルアップ、②金融商品サービスに関する消費者保護の強化および金融包摂の促進、③金融機関と顧客のコミュニケーション・透明性の改善、④ブラジル中銀が実施する措置の影響評価、が掲げられている。

具体的な取り組みとしては、オンライン・プラットフォーム（**It's Every Business**）を通じたクレジットカードやローンに関する消費者向け情報提供や、年1回の全国金融教育週間（**National Financial Education Week**）等を実施している⁵⁹。

(3) マイクロファイナンスなどソーシャルファイナンスの現況等

社会包摂のための金融サービスの具体的な施策として、マイクロファイナンスやエージェント制度を活用したブランチレスバンキングなどによって、地方在住者及び低所得者層へのユニバーサルサービスが提供されている。

ブラジルではマイクロファイナンスに特化した金融機関としてマイクロアントレプレナー・小企業信用機関（**Microentrepreneur and Small Business Credit Company, SCMEPP**）が39機関（2014年12月末）展開している。マイクロアントレプレナー・小企業信用機関は小企業や零細企業向けの小口融資を行っている⁶⁰。

ブラジル政府は、金融包摂を促進するため、2003年に大手金融機関のマイクロファイナンスへの参入を促す施策を導入した。国内で営業している銀行に対し、要求払い預金残高の2%相当額をマイクロファイナンス業務に割り当てる基準を設けている（法律第10735号、国家通貨審議会決議3109、同3128）⁶¹。

また、同決議により、既存のエージェント（銀行代理店）に、簡易型普通預金口座や当座預金口座を販売・新設する権限を与えた。2003年より、預金上限額500レアルの簡易型普通預金と当座預金口座が展開されたことで、エージェントによる、マイクロファイナンス市場への本格参入が開始された（それまでは、エージェントが銀行に代わり預金の預入を行うことは禁じられていた）。

2012年には、マイクロファイナンスの促進や情報開示・透明性向上に向けた規制改正が行われた（国家通貨審議会決議4152、同4153）。決議4152では、「同一の借り手に対する他の取引の債務残高との合算（住宅ローンは除く）で、一人当たりGDPの3倍以下」を「マイクロクレジット」と定義した。決議4153では、マイクロアントレプレナー（年間粗利益36万レアル以下）の借り入れ上限が、20,000レアルから40,000レアルに引き上げられた。

2014年時点で、マイクロクレジットの残高は62億レアルであり（国内貸出残高全体約3.0兆レアルの0.2%）、うち94%が個人向け、6%が法人向けとなっている。マイ

⁵⁸ ブラジル中央銀行 “Report on Financial Citizenship 2018”（同報告は3年ごとに発行予定）

https://www.bcb.gov.br/Nor/relincfin/Relatorio_Cidadania_Financeira_2018_ingles_30_janeiro.pdf

⁵⁹ ブラジル中央銀行 “Banking Report 2017” <https://www.bcb.gov.br/en/publications/bankingreport>

⁶⁰ ブラジル中央銀行 “Report on Financial Inclusion”（2015年）

<http://www.bcb.gov.br/Nor/relincfin/RIF2015EN.pdf>

⁶¹ 世界銀行 「Access to Financial Services in Brazil」

クロクレジットの提供主体としては、開発機関（Development Agency）、銀行、信用組合、SCMEPP の 4 つのセグメントがある。個人向けについては貸出残高の 91.7%を銀行が占め、SCMEPP は 2.0%にとどまる⁶²。

銀行では、政府系銀行であるブラジル銀行と連邦貯蓄銀行が、マイクロファイナンスを提供する主要な金融機関となっている。例えば、ブラジル銀行ではブラジルにおける経済、社会開発を推進する機関として、財政的な支援だけでなく、財政に関する教育プログラムを提供するといった教育面からも、小企業や零細企業をサポートしている⁶³。

2016 年、政府は小企業や零細企業を対象に 300 億レアルの支援を行うことを発表した。これら資金は事業運用資金や投資、設備購入に使用される。同 300 億レアルのうち 200 億レアルはブラジル銀行と連邦貯蓄銀行に割り当てられ、残りの 100 億は民間銀行（ブラデスコ、イタウ、サンタンデール）に割り当てられる⁶⁴。各銀行は、前述したブラジル銀行のように、教育プログラムを提供したり、低金利で融資をしたり、無償で保険を提供したりといった支援を行っている。

(4) 大手行を中心としたマルチサービス

大手銀行を中心に、マルチサービスの提供が積極的に展開されている。その代表例が、ブラジル銀行とブラデスコ銀行、連邦貯蓄銀行の 3 行が発行するクレジットカード、デビットカード、プリペイドカード、プライベートレーベル（特定の企業発行によるクレジットカード）、キャッシュカードの機能を有するマルチカード（「エロ（Elo）」）である。ブラジル銀行とブラデスコ銀行は 2010 年、クレジットカードを発行する目的で Elo 銀行を立ち上げ、この事業に 2011 年、連邦貯蓄銀行が参画した。Elo カードは、100%ブラジル資本による初のクレジットカードブランドである。これら 3 行の口座所有者はもちろん、銀行口座を保有していない人も取得可能である。今後クレジットカード発行が期待できる低所得者層を主にターゲットにしている⁶⁵。

同マルチカードについて各行は、今後 5 年間で国内市場におけるシェア 15%獲得を計画していた⁶⁶。しかし、世界的ブランドでもある、Visa や MasterCard のシェアは依然として高く、2016 年では同 2 つのブランドでクレジットカードシェアの 89.1%、全取引の 91.3%を占めており、Elo はクレジットカードシェアの 7%にとどまっている⁶⁷。2016 年 7 月に米国のクレジットカード会社の Discover Financial Service 社とパートナーシップ提携し、2018 年には同社子会社の Diners Club International との連携を強化して Elo ブランドから Elo Diners Club Brazil カードの発行が開始された。Discover Global Network の利用により Elo ブランドのカードは、世界 190 か国の 4,200 万施設・200 万台の ATM で使用が可能となっており、これまでに約 1.2 億枚が発行されて

⁶² 脚注 60 参照。

⁶³ ブラジル銀行、“Annual Report 2016”

⁶⁴ BrazilGovNews “Government offers R\$ 30 billion in credit for micro and small enterprises”
<http://www.brazilgovnews.gov.br/news/2016/10/government-offers-r-30-billion-in-credit-for-micro-and-small-enterprises>（閲覧日：2020 年 5 月 10 日）

⁶⁵ ブラジル日本商工会議所「ブラジル銀行とブラデスコ銀行は共同でクレジットカードを発行」
<http://jp.camaradojapao.org.br/news/noticias/noticias-financeiro/?materia=7285>（閲覧日：2020 年 5 月 10 日）

⁶⁶ EXAME.com、「Caixa, BB e Bradesco concluem criação da Elo Serviços」（2012 年 4 月 17 日）、
<http://exame.abril.com.br/negocios/noticias/caixa-bb-e-bradesco-concluem-criacao-da-elo-servicos>

⁶⁷ PagBrazil “Brazilian Card Brand Elo Expands its Market Share”
<https://www.pagbrasil.com/news/brazilian-card-elo-expands-market-share/>（閲覧日：2020 年 5 月 10 日）

いる⁶⁸。

(5) フィンテックに関する法規制整備と関連企業の増加

ブラジルでは、近年フィンテックに関する法規制が急速に整備されている。2013年10月9日付法律12865号⁶⁹は、電子決済を直接的に規制するものである。銀行以外の業態による決済・送金サービスへの参入が後押しされ、消費者向けの金融サービスを提供する電子プラットフォームの創設が急速に拡大した⁷⁰。さらに、2016年4月25日付国家通貨審議会（CMN）決議第4480号（Resolution 4480）⁷¹により、銀行窓口に赴くことなく電子書面の提出により預金口座の開設・解約を行うことが可能となり、電子決済の普及が促進された。

電子プラットフォームを介した金融サービスの提供を促す環境整備は、決済・送金サービスから貸出へと広がりを見せている。2018年4月26日付CMN決議第4656号（Resolution 4656）⁷²は、直接貸出機関（sociedade de crédito direto : SCD）およびPeer-to-Peer（P2P）貸出仲介機関（sociedade de empréstimo entre pessoas : SEP）のフィンテック2業態を創設した。いずれも、ブラジル中央銀行の認可が必要で、CMNおよび中銀の規制に従う義務を負う。SCDは自己資本により直接貸出を行う一方、SEPは貸し手・借り手の仲介を担う。これにより、大手行への集中が顕著なブラジルの貸出市場へのフィンテック企業の新規参入障壁が下がった。すなわち本決議は市場参入に当たっての既存金融機関との業務提携等を不要とし、フィンテック企業自身による顧客口座の開設・維持、電子プラットフォームを用いた自己資金の貸付、個人・企業間の貸付サービス提供等が可能となった。さらに2018年10月には、SCD、SEPに外資の100%出資を認める政令9544号が施行された。

フィンテック関連規制の整備により、ブラジルにおけるフィンテックのスタートアップ企業は2010年に第1号が誕生して以降、2020年8月末で689社と中南米地域で最多となっている⁷³。活動分野は多岐に亘るが、決済（29%）、貸出サービス（17%）、財務管理（18%）がフィンテックの主要な事業分野となっており、この3分野で全体の3分の2を占める（図表33）。

スタートアップ企業の約7割は、ベンチャーキャピタルが集積し中南米有数の先端的な起業環境を有する首都サンパウロに本社を置いている⁷⁴。

⁶⁸ “Elo Extends Partnership with Discover to Launch Elo Diners Club International Cards in Brazil” <https://markets.businessinsider.com/news/stocks/elo-extends-partnership-with-discover-to-launch-elo-diners-club-international-cards-in-brazil-1027745779>（閲覧日2020年5月10日）

⁶⁹ <https://www.bcb.gov.br/Pom/Spb/Ing/InstitucionalAspects/Law12865.pdf>

⁷⁰ FintechLab, “Brazil 2017 FintechLab Report”

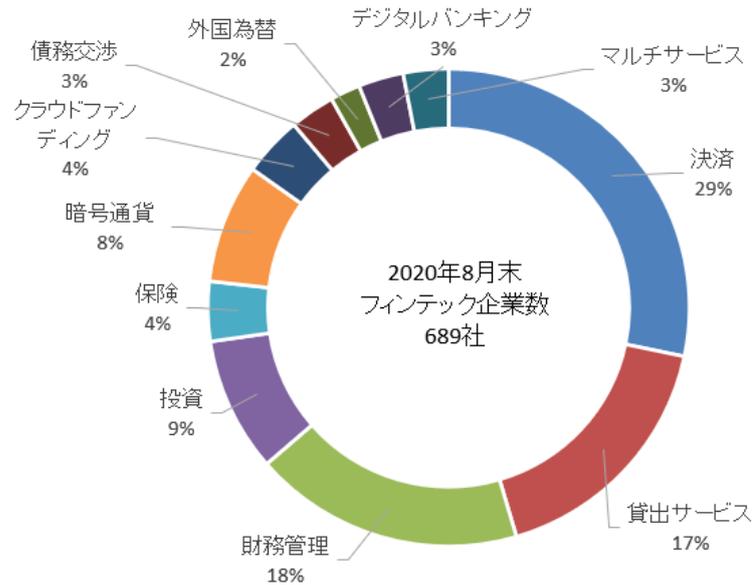
⁷¹ “Will Brazil Go Digital?” Feb. 21, 2017

⁷² <http://www.bcb.gov.br/ingles/norms/Resolution%204656.pdf>

⁷³ “FinTech in Brazil: Overview” Levy & Salomao Advogados, Dec. 2020（閲覧日：2021年1月15日）

⁷⁴ Finnovista, “Brazil recovers the leading position as largest Fintech ecosystem in Latin America with over 370 Fintech startups” <https://www.finnovista.com/fintech-radar-brazil-may2018/?lang=en>（閲覧日：2020年4月20日）

図表 33: 分野別のフィンテック企業数シェア (2020年8月末)



(出所) “FinTech in Brazil: Overview” Levy & Salomao Advogados, Dec. 2020 を元に作成

ブラジルのフィンテック企業の成功例として注目されているのが、デジタルバンキングサービスを提供する Nubank である。官僚的で硬直したブラジルの銀行システムに風穴を開ける目的で 2013 年に設立されたと伝えられる⁷⁵。2020 年 6 月時点の顧客数はブラジル全土で 2,500 万人に達している⁷⁶。2018 年 1 月にはブラジル中央銀行から消費者ローン事業に関する認可を取得したほか、2019 年 7 月には中小企業オーナー向けのデジタル口座を開設する方針を発表するなど、事業分野を広げている。資金調達も順調で 2013 年の創業以来 2019 年までに 9.0 億ドルの外部資金調達を行っている⁷⁷。ブラジルの数少ないユニコーンの一つであり、2019 年には評価額 100 億ドルを超えた。

ブラジルのフィンテック企業には、海外からも出資が増加している。Nubank には中国のソーシャル・ネットワーク・サービス企業テンセントが出資⁷⁸しているほか、消費者ローンのプラットフォームを手掛ける Creditas には日本のソフトバンクグループと傘下のビジョン・ファンド等が出資⁷⁹している。2019 年、ブラジルのフィンテックは海外から 16 億ドルの投資が流入した。この額はフィンテック業界の投資受入額として米・英・印・中に次いで世界 5 位であった⁸⁰。

2016 年 10 月には業界団体であるブラジルフィンテック協会 (Associação Brasileira de Fintechs) が設立され、クラウドファンディングや電子プラットフォームに関する規制の在り方や、イタウ銀行、ブラデスコ銀行等の大手銀行のオープンイノベーションプログラム等について、ブラジル証券取引委員会やブラジル中央銀行との協議を担

⁷⁵ “Nubank shakes up Brazil’s banking bureaucracy” Financial Times, March 30, 2020

⁷⁶ Statista, Sept. 2020

⁷⁷ “Banking Challenger Market Is Gowing Rapidly, with Brazil’s Nubank being the World’s Largest with 15 Million Clients” Jan. 19, 2020

⁷⁸ Reuters, “China’s Tencent invests \$180 mln in Brazil fintech Nubank” October 8, 2018

⁷⁹ Reuters, “Japan’s SoftBank makes bet to challenge Brazil’s concentrated banking sector” July 10, 2019

⁸⁰ “Brazil is the 5th largest global destination for investments in fintechs” March 6, 2020

っている⁸¹。

(6) 2020 年における中央銀行の優先課題 (BC#AGENDA)

ラテンアメリカにおけるフィンテックのハブとして法規制の整備は進展しているが、ブラジル中央銀行は 2020 年に更なるイノベーティブな改革を推し進めんとしている。

金融システムの構造的課題に対するブラジル中央銀行による取り組みは BC#AGENDA⁸²として整理されている。集中度の高いブラジルの銀行セクターをより競争的・効率的で、より包摂度の高いシステムに改革すべく、包摂、競争、透明性、金融教育という 4 つの柱を立て、それぞれのディメンションに優先的ミクロの課題を設定している。

2020 年に注目すべき主要テーマとしては、(a)オープンバンキング (open banking)、(b)即時支払いシステム (instant payment system)、(c)規制のサンドボックス (regulatory sandbox) の導入などが計画されている。いずれもブラジル金融システムにディスラプティブな影響をもたらすポテンシャルを有し、大手銀行はフィンテックから厳しい挑戦を受ける立場に置かれる。

(a) オープンバンキング⁸³

2020 年 5 月 4 日、中央銀行が open banking regulation を発表した。この regulation は、2019 年 7 月に最終法案が承認された「個人データ保護法」(法律 13,853 号)の新しい考え方に基づく。すなわち、銀行の保有する顧客のデータ・情報は銀行ではなく顧客自身に帰属するものという原則に立ち、複数の金融機関に自己の金融情報のシェアリングを認めるか否かの決定権は顧客にある。

オープンバンキングでは、かかる原則の下で参加銀行は顧客の同意に基づき、当該金融情報を API (application programming interfaces) を通じて第三者 (third party provider) に開放しなければならない。大手銀行は参加を義務付けられる。オープンシェアリングによって金融機関間の情報の非対称を解消し、包摂と競争を高めるビジネス環境の構築を目指す。大手行は顧客情報を自行で抱え込む時代の終焉を迎える。

本プログラムは 4 つのステージに沿って展開される予定であるが、中央銀行は 11 月に工程表を変更した。第 1 ステージの完了予定とされていた 11 月 30 日は 21 年 2 月 1 日に延期され、第 4 ステージの完了予定の 21 年 10 月 25 日も同年 12 月 15 日に延期されている⁸⁴。

⁸¹ Inter American Development Bank and Finnovista, “FINTECH: Innovations You May Not Know were from Latin America and the Caribbean”
<https://publications.iadb.org/handle/11319/8265#sthash.nDRVmTFy.dpuf><https://publications.iadb.org/handle/11319/8265>

⁸² 中央銀行 <https://www.bcb.gov.br/en/about/bcbhashtag>
“Banking bulletin/Special edition” Jan. 27, 2020 <http://www.pinheironeto.com.br/publicacoes/banking-bulletin-special-edition>

⁸³ “Brazilian open banking regulation” May 6, 2020
“Brazil to embrace open banking regulations in November 2020” May 6, 2020

⁸⁴ LABS “Brazil postpones first phase of open banking to February 2021”, Nov. 27, 2020

(b) 即時支払いシステム (instant payment system: 通称 PIX)⁸⁵

PIXは24時間/日、365日/年(営業時間に関わりなく)、P2P、B2Bの資金授受をリアルタイム(20秒未満)で可能にするシステムである。QRコードやATM、オンライン銀行チャネル、スマホなど、様々な方法で取引が可能である。仲介の必要もなく、支払人口座から受取人口座へ直接届けられることにより、取引費用の大幅な削減、また資金授受の即時化によるコスト低減、安全性の向上、キャッシュフロー管理の改善が期待される。納税にも利用できるようになる。

中銀はキャッシュやbank transfer(最も普通の資金移転手段であるTEDやDOC)を代替することを目指しており、4,500万以上ともいわれる、銀行にアクセスのない人口の金融包摂が著しく進むと見込まれている。50万以上の口座を持つ大手金融機関は参加を義務づけられる。

導入計画は2019年4月に明らかにされていたが、中銀は20年2月、新たな支払手段および金融包摂の手段としてのPIX導入の基準・ルールを公式に発表した。実証、public consultation等のプロセスを経て2020年11月16日、同システムのフル稼働が正式に開始、734の金融機関で利用可能となった⁸⁶。

(c) 規制のサンドボックス⁸⁷

規制の砂場(regulatory sandbox)とは、革新的な技術の実用化、新たなビジネスモデルの導入を進めるにあたって現行規制の下では困難な場合、その適用を一時的に停止する規制緩和策を指す。当局に革新的な試みの申請を提出して承認された機関に対し、限定された期間・内容で実証試験の場を提供する。金融システムにおけるinnovation facilitatorとの位置づけとなる。

現在いくつかの国でサンドボックス導入の動きが現れてきており、これまでサンドボックスの存在しなかったブラジルにおいても、2019年11月、中央銀行が通貨審議会(CMN)と共同で、金融技術のイノベーションを奨励するサンドボックスに関する市民協議(public consultation)を開始する旨の通知を発出、ルール構築に向けて動き出している。

2. 最近のリテール決済の動向

(1) キャッシュレス決済の動向

ブラジル中央銀行の調査⁸⁸によれば、小売店舗での取引における支払方法は、依然として現金中心になっている。ただし、取引全体に占める現金の比率は、2013年時点の57%から2018年には52%に低下している。次いで多いのがクレジットカード決済だが、取引全体に占める比率は同期間に35%から31%に低下している(図表34)。

一方で、デビットカードの比率は同期間に4%から15%に上昇しており、デビットカードを中心に小売店舗でのキャッシュレス化が進行している。また、100リアル(約

⁸⁵ “PIX - A Guide through Brazil’s new instant payment system” April 3, 2020

“Central Bank of Brazil tests settlement infrastructure for instant payment” April 15, 2020

⁸⁶ ブラジル中央銀行、“Agenda BC# - Pix starts its full operation with 734 institutions on November 16, 2020”

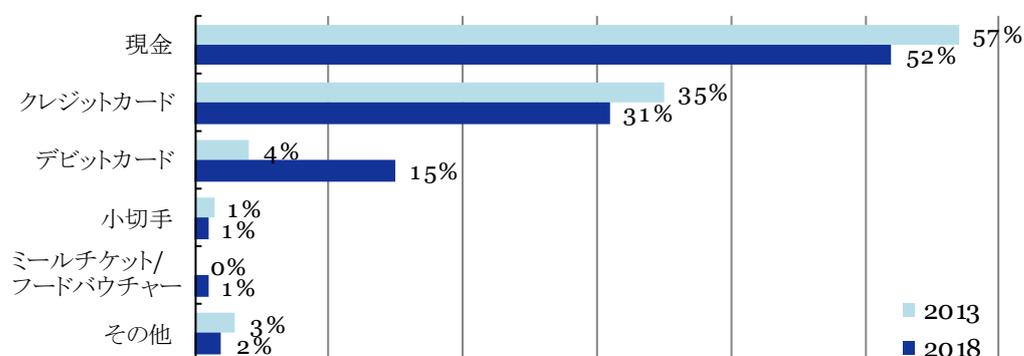
⁸⁷ “Proposals move forward to introduce regulatory sandbox in Brazil” December 12, 2019

⁸⁸ ブラジル中央銀行“Report on Financial Citizenship”

https://www.bcb.gov.br/Nor/reincfin/Relatorio_Cidadania_Financeira_2018_ingles_30_janeiro.pdf

2,560 円) 以上の決済の場合は、クレジットカードおよびデビットカードによるキャッシュレス決済の比率 (58%) が現金 (37%) を上回る。

図表 34: 主要な小売決済手段



(資料) ブラジル中央銀行 “Report on Financial Citizenship”
https://www.bcb.gov.br/Nor/reincfin/Relatorio_Cidania_Financeira_2018_ingles_30_janeiro.pdf

(2) モバイルバンキングの拡大

マイクロファイナンスやエージェント制度以外の地方居住者への金融アクセスを広げるインフラとして、モバイルバンキングやネットバンキングが着目されている。ブラジルではインターネットを使用する人口は、2000 年の 2.9% (総人口対比) から、2018 年には 70% まで増加している⁸⁹。低所得者層のインターネット利用の増加を踏まえて、ブラジル政府はインターネットや携帯電話等の媒体を活用した金融サービスの普及を進めている。

携帯電話やスマートフォンを通じたモバイルバンキングの急成長は著しい。ブラジル銀行協会 (Brazilian Federation of Banks, FEBRABAN) が公表している「Banking Technology Survey」⁹⁰によると、2012 年時点ではインターネットバンキングの口座数が 2,400 万件とモバイルバンキングの 600 万件の約 4 倍だったが、モバイルバンキングの急拡大により 2017 年には両者が 5,700 万件で並び、2018 年には調査開始以来初めてモバイルバンキング (7,000 万件) がインターネットバンキング (5,300 万件) を上回った。新規口座開設数でも、インターネットバンキングの 43.4 万件に対しモバイルバンキングは 250 万件と圧倒的に多くなっている。

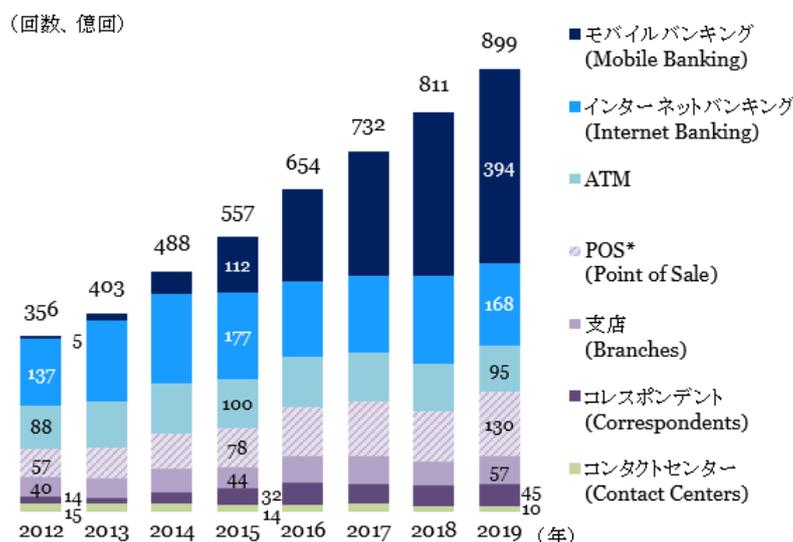
モバイルバンキングによる取引回数は、取引チャネルとして最初に提供された 2011 年の 1 億回から 2019 年には 394 億回へと拡大している。一方、インターネットバンキングの取引回数は 2014 年の 180 億回でピークアウトしており (2019 年 168 億回)、デジタルチャネルの中でもモバイルバンキングが選好される傾向が鮮明になっている (図表 35)。モバイルバンキング利用者のうち、銀行取引の 80% 以上を同チャネル経由で行うヘビーユーザーの比率は、2016 年の 29% から 2018 年には 38% に、さらに 2019 年には 51% まで一気に上昇している。

⁸⁹ World Bank, “Individuals using the Internet (% of population)”
<https://data.worldbank.org/indicator/IT.NET.USER.ZS> (閲覧日 2020 年 5 月 15 日)

⁹⁰ 2019 年版の調査対象は 20 行。 <https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/br/Documents/financial-services/2019-FEBRABAN-Banking-Technology-Survey.pdf>

モバイルバンキングが取引回数全体に占めるシェアは2019年に44%に達している。インターネットバンキングと合計したデジタルチャネル経由の取引は63%と過半を占め、支店やATMなど実店舗を利用した取引シェアは低下している（図表36）。

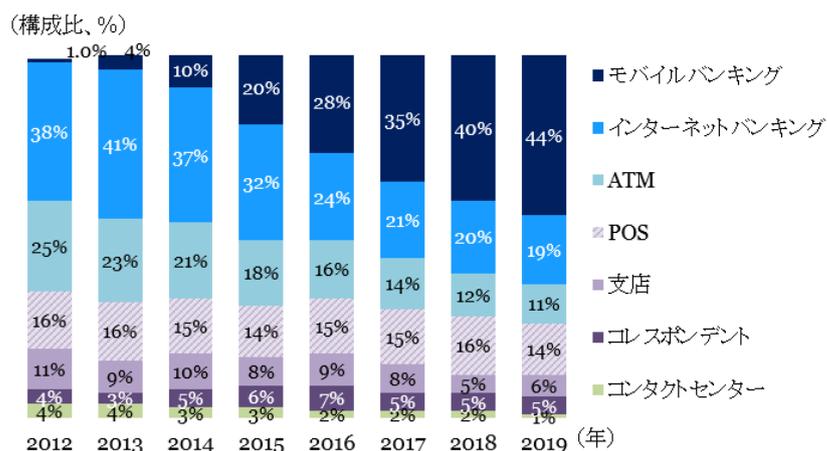
図表 35: チャネル別取引回数



(注) *POSは店内POS (In-store Points of Sale) の略で、小売店等での購買を銀行POSシステムにより口座振替した取引等を指す。

(出所) Brazilian Federation of Banks “2020 Banking Technology Survey”
<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/br/Documents/financial-services/2019-FEBRABAN-Banking-Technology-Survey.pdf> (閲覧日: 2021年1月20日)

図表 36: チャネル別取引シェア



(注) (出所) は図表 35 に同じ

モバイルバンキングの急拡大を受け、ブラジルの金融業界は技術関連投資・支出を拡大している。景気低迷により企業の設備投資全般が抑制傾向にあるなか、2018年の金融機関による技術関連投資・支出額は196億リアルと前年比3%増加した。投資内容はハードウェアからソフトウェアにシフトしている。2011年時点では、投資・支出額に占めるハードウェアの割合が45%、ソフトウェアが32%となっていたが、2015

年に逆転し、2019年時点ではハードウェア 33%、ソフトウェア 54%となっている⁹¹

(3) 大手行におけるモバイルバンキングの取り組み

大手各行でもモバイルバンキングが盛んになっている。例えば大手政府系銀行の連邦貯蓄銀行（CAIXA）はデジタルバンキングアプリケーションを提供しており、支店やサービスポイント経由からデジタルチャネルへの取引シフトが生じている。2019年の支店やサービスポイント経由の取引回数は 3.2 億回であるのに対し、インターネットバンキングおよび携帯電話・スマートフォン等のデジタルチャネル経由は 50 億回と約 15 倍に達している。デジタルチャネルの内訳をみると、携帯電話・スマートフォン経由のモバイルバンキングが 37 億回と、インターネットバンキングの 13 億回を上回っており、2018 年対比での伸び率は各々、100.3%増、1.4%減と、モバイルバンキングが急激に伸長している⁹²。

ブラジル銀行も近年はモバイルバンキングに力を入れており、「デジタル化に向けた戦略プラン」に基づきモバイル経由でのサービスを拡充している。2017年の全取引のうち 73.4%がモバイルまたはインターネットバンキングであった。すでに、各種保険（家屋・自動車・生命）サービスや、不動産ローンのシミュレーションをアプリケーションで提供しており、口座保有者以外へのクレジットカードや年金プランも今後提供予定となっている。同行のスマートフォン・アプリを利用したデジタル口座 Conta Fácil 開設数は 270 万件となっており、うち 130 万件が 2018 年中に開設され、2019 年にはさらに 230 万件が開設見込みとなっている⁹³。

民間銀行でも、大手ブラデスコ銀行では、Bradesco Celular というアプリケーションを提供し、スムーズな取引や口座へのアクセスを可能としている。同アプリケーションを通じた取引は、2019年 118 億件（個人・法人顧客含む、全取引の 59%）となっている。Bradesco Celular を通じた取引を含め、デジタルチャネルを介した取引は 2019年の全取引の内 96%であった⁹⁴。

3. 郵便局における金融サービスの今後の動向

ブラジル郵便電報公社（Empresa Brasileira de Correios e Telégrafos, Brazilian Post and Telegraph Company, ECT）は、国連のミレニアム開発目標（MDGs）への貢献及びブラジル政府の社会開発政策に沿い、ブラジルの貧困層に基礎的社会インフラを提供することを理念としている。2011年には、長期経営戦略「Correios 2020」を策定し、その中で 2012 年をグローバル企業への転換期とする目標を掲げている⁹⁵。バンコ・ポスターールは、この 10 年間で金融サービスを国民全員に提供することを最優先課題として、民間銀行の業務受託という形で金融サービスの窓口を展開してきた。

ブラジル銀行はバンコ・ポスターールにおいて大幅に顧客を増やした。当初は「全国津々浦々の郵便局店舗」が確かに強みを発揮した。しかし、デジタル時代の流れは、バンコ・ポスターールの運営にも影響を及ぼしている。金融デジタル化の進展によって利便性・処理スピードの向上、コストの低減が進み、店舗の多さ自体の相対的優位性が

⁹¹ FEBRABAN “2020 Banking Technology Survey” pp.7（閲覧日：2021年1月20日）

⁹² CAIXA “Performance Analysis Report 2019”

⁹³ ブラジル銀行 “Annual Report 2017”、“Annual Report 2018”

⁹⁴ ブラデスコ銀行 “Integrated Report 2019” デジタルチャネルには、インターネット、モバイル端末、テレバンキング、ATM を含む。

⁹⁵ “Correios Brasil going ahead with Strategic Postal Plan 2020”（Post&Parcel, December 31st, 2012）

急速に薄れている。窓口営業よりもデジタル化に軸足を移しているブラジル銀行が2020年3月にバンコ・ポスターールに終止符を打ったのもこのような時代の流れを背景とする。

ブラジル銀行との契約が終了したあと、バンコ・ポスターールの後継銀行が決まったという情報はない。しかし、ECTは金融サービスを配送事業等基幹業務の収益低下を補う重要市場と位置付けており、金融サービスから撤退することは当面想定しにくい。一方、自ら金融業務ライセンスをもたないブラジルの郵便局が金融サービスを提供するには金融機関との連携が必須である。ECTとしても拠点数のそとに競争力の源泉を見出すことが不可欠である。

2018年1月より、バンコ・ポスターールは、Visaとともに、ブラジルのスタートアップ企業であり、フィンテック企業である conta.MOBI と連携し、ブラジル全土で新たなサービスの提供を始めた。これは、銀行口座を持たない人でも、個人の納税者番号を使用することで金融取引を可能とするものである。

MOBI にアカウントを持つユーザーは、バンコ・ポスターールで預金をしたり、キャッシュを引き出したり、といったことが可能であり、Google Play や Apple Store で MOBI のアプリケーションをダウンロードすることで、MOBI アカウントにアクセスすることも可能である。同サービスは銀行口座を持たない人による活用や、銀行支店のない場所での活用、さらに零細企業のビジネスを最大化するための活用等が期待されている⁹⁶。

現政権は2019年8月、ECTを民営化対象に加える方針を示したが⁹⁷、ECTの民営化には郵便事業の政府独占を定める憲法の改正が必要となるため、不確定要素は多い。しかし、ECTが国営企業である間は、上述のように、大手銀行とよりは、むしろ複数のフィンテックとの、それぞれの特長を生かした連携に向かうのではないかと推察される。

⁹⁶ Diário do Nordeste “Correios começam a oferecer novo serviço financeiro no Ceará”
Baguete “Conta.Mobi permite saques nos Correios” <https://www.baguete.com.br/noticias/12/01/2018/conta-mobi-permite-saques-nos-correios>

(閲覧日：2020年5月5日)

conta.MOBI ウェブサイト <https://conta.mobi/novo/> (2020年5月5日)

⁹⁷ The Rio Times, “Brazil’s Government Set to Announce Privatization of Postal Service Correios,” August 21, 2019
<https://riotimesonline.com/brazil-news/brazil/brazils-government-to-announce-privatization-of-correios-on-wednesday/>

< 出所資料一覧 >

【国際機関・外国機関文献・データベース】

- ・アメリカ合衆国中央情報局(CIA)「The World Factbook」
- ・世界銀行「Access to Financial Services in Brazil」、「World Development Indicators」、「The Global Findex Database 2017」「Individuals using the Internet (% of population)」
- ・IMF「World Economic Outlook」

【中央銀行・監督官庁・銀行協会等 HP】

- ・Sicoob ウェブサイト
- ・Sicredi ウェブサイト
- ・外務省ウェブサイト
- ・信用保証基金(FGC)ウェブサイト
- ・駐日ブラジル大使館ウェブサイト
- ・ブラジル銀行協会(FEBRABAN)ウェブサイト、「Banking Technorogy Survey」
- ・ブラジル地理統計院ウェブサイト
- ・ブラジル中央銀行(BCB)ウェブサイト、「financial and regulatory information database」、「Relatórios anuais 2017 Dezembro」、「Monetary and Credit Statistics」、「Financial Stability Report」、「Credit operations outstanding-households-Total」、「Report on Financial Inclusion」「Report on Financial Citizenship」「Banking Report」

【論文・雑誌・業界紙】

- ・De Matos, Orlando Carneiro. 「Volatility Of Rates Of Return And Capital Adequacy In The Brazilian Banking Sector: An Analysis Of The 1993/97 Period」
- ・Segura-Ubierno, Alex. 「The Puzzle of Brazils High Interest Rate」 IMF Working Paper NO.12/62,February 1,2012
- ・「Brazilian Banks In the doldrums, with full sail」 The Economist, August 4, 2018

【郵便公社・郵貯等 HP】

- ・ブラジル郵便電報公社(ECT)ウェブサイト、「Management Report」
- ・Universal Postal Union 「Global Panorama on Postal Financial Inclusion 2016」

【民間金融機関等 HP】

- ・BNDES 銀行ウェブサイト
- ・イタウ銀行ウェブサイト
- ・ブラジル銀行ウェブサイト
- ・ブラデスコ銀行ウェブサイト
- ・連邦貯蓄銀行(Caixa)ウェブサイト

【その他 HP】

- ・BrazilGovNews ウェブサイト
- ・cooperativismodecredito ポータルサイト
- ・conta. MOBI ウェブサイト
- ・Finnovista ウェブサイト
- ・FintechLab ウェブサイト
- ・KPMG ウェブサイト
- ・PagBrazil ウェブサイト
- ・PwC ウェブサイト
- ・ブラジル日本商工会議所ウェブサイト